特61
455

袖珍日本地理

根來可敏著

東京 合資會社啓成社發兌

明治
39 10 10
内交

緒言

一、本書は記臆に困難にして總括に苦痛を感ずる地理研究上聊か便益を與へんとして編纂したるものなり。

一、本書は產業の部に於て稍詳密に之れを述べたり。これ著者在來の主張に基づけるものなり。

明治三十九年九月

著者識

袖珍日本地理　目次

第一章　自然地理

第一　我が國の位置……一
第二　我が國の境域……四
第三　我が國の廣袤……五
第四　我が國の面積……六
第五　我が國の灣入……八
第六　我が國の海峽……一〇
第七　我が國の半島……一一
第八　我が國の岬角……一三

第九　我が國の沿岸……一三
第一〇　我が國の海岸線……一四
第一一　我が國の近海……一六
第一二　我が國近海の海流……一八
第一三　我が國の地形……二〇
第一四　我が國地體上の名稱……二三
第一五　我が國の河流……二六
第一六　我が國の湖沼……二八
第一七　我が國の氣候……三三
第一八　我が國の天産……三五

第二章　地方誌

第一　關東地方……三七
東京府……四二
神奈川縣……四五
埼玉縣……四八
千葉縣……五〇
茨城縣……五三
栃木縣……五五
群馬縣……五八
第二　奥羽地方……六〇
福島縣……六五
宮城縣……六八

岩手縣……七〇
青森縣……七三
秋田縣……七五
山形縣……七七
第三　本州中部地方……八〇
新潟縣……八六
長野縣……八八
山梨縣……九一
靜岡縣……九三
愛知縣……九六
岐阜縣……九八

富山縣……一〇一
石川縣……一〇三
福井縣……一〇五
第四　近畿地方……一〇七
滋賀縣……一一二
京都府……一一三
大阪府……一一六
奈良縣……一一八
三重縣……一二一
和歌山縣……一二三
兵庫縣……一二五

第五　中國地方
鳥取縣……一二九
島根縣……一三三
岡山縣……一三四
廣島縣……一三七
山口縣……一三九
第六　四國地方
德島縣……一四一
香川縣……一四四
愛媛縣……一四七
高知縣……一四九

第七　九州地方
福岡縣……一五〇
佐賀縣……一五三
長崎縣……一五五
熊本縣……一五九
大分縣……一六一
宮崎縣……一六三
鹿兒島縣……一六五
沖繩縣……一六八
第八　臺灣地方……一六九
第九　北州地方……一七一

袖珍日本地理

根來可敏著

第一章　自然地理

第一、我が國の位置

一、經緯度上の位置

1、極東は、東經一五六度三二分、占守島東端に當る。

2、極西は、東經一一九度二〇分、澎湖島花嶼西端に當る。

目次 終

第十　樺太南部 …… 一八四
第三章　人文地理
第一　我が國の住民 …… 一八七
第二　我が國の教育・宗教 …… 一九〇
第三　我が國の內治 …… 一九二
第四　我が國の財政 …… 一九六
第五　我が國の外交 …… 一九七
第六　我が國の產業 …… 二〇〇

3、極南は、北緯二一度四八分、臺灣南岬岩礁に當る。

4、極北は、北緯五〇度五六分、阿賴度島南端に當る。

二、氣候上の位置

1、北半球の中部に位し、其大部は北温帶に位置せり。

2、即ち南は僅かに熱帶に入り、北は未だ寒帶に入らず。

三、政治上の位置

1、一葦の海水を隔てゝ、ロシア●支那●日本三國の接衝點たる韓半島の隣に位置す。

2、頑強にして事理の判斷に乏しく、屢々列強と事を構ふる支那の東方に位置す。

3、世界列強の最も注目せる太平洋の北西に位置す。

四、位置の概說

1、アジア東岸の天然の防波堤の如く、狹長に位置を占む。

2、アジア東方諸島の盟主にして、且重鎭たる位置を占む。

3、地球上温帶の要部を占め、我れ等の生活と、生物の繁殖とに大なる利便を有す。

第二、我が國の境域

一、境域

1、南東は、太平洋を隔てゝ遠く北アメリカに對し、一部は遙に南洋諸島を望む。

2、北西は、オホーツク海●日本海●支那海等を超えて、アジアの韓●清●シベリア等と相對す。

二、境域の概説

1、新世界と舊世界との殆んど中間にあり。

2 四境續らすに殆んど海洋を以てす。

3、從て民衆の統一を保ち國運益々進歩す。

第三、我が國の廣袤

一、廣袤

1、千島列島の占守島より、南西なる臺灣に至るまで、其延長約一千三百里に亘る。

2、其幅最も廣き所は約六十里に達し、一列の防波堤の如く又一連の花彩の如し。

二、廣袤の概説

1、地域狹長にして、天産物の分布は寒●温●熱三帶の各

種に亘る。

2、延長約千三百里、世界の最長國と稱せらる。

第四、我が國の面積

一、總面積

北州、本州、四國、九州及び臺灣の五大島に南樺太を加ふる時は、約二萬九千方里に達す。

本州島及び其屬島	約	一四、五七一方里。
北州島及び其屬島	約	五、〇八三方里。
九州島及び其屬島	約	二、六一八方里。
臺灣島及び其屬島	約	二、二五三方里。

南樺太	約	一、八四〇方里。
四國島及び其屬島	約	一、一八一方里。

二、面積の概說

1、我が國の面積は、世界の強國と稱せらるゝものと其差甚だ大ならず。

2、我が國の面積は、大ならず小ならず、適量の間にあり。

3、五大島中本州は、面積最も大にして、四國は最も小なり。

4、南樺太は、其北半ロシア領と相接し、土地の境界線は人爲を以て定む。

三、六大島の形狀

1、本州島　蛟龍の天に昇るが如し。
2、北州道　赤鱒（ワカエイ）の尾を振れるが如し。
3、九州島　猿の舞ふが如し。
4、臺灣島　櫻の葉の如し。
5、南樺太　魚體の後部に似たり。
6、四國島　蝙蝠の翼を張れるが如し。

第五。我が國の灣入

一、灣入

南樺太　東伏見灣、七郎灣、
北州島　根室灣。厚岸灣。內浦灣。小樽灣。函館灣。
本州島　陸奥灣。仙臺灣。東京灣。相模灣。駿河灣。伊勢灣。大阪灣。宮津灣。舞鶴灣。小濱灣。敦賀灣。七尾灣。富山灣。
九州島　別府灣。志布志灣。鹿兒島灣。八代灣。島原灣。有明灣。長崎灣。大村灣。佐世保灣。
四國島　伊豫灣。土佐灣。

二、灣入の概說

1、一般に我が國は、灣入多し。
2、東伏見灣及び七郎灣は、冬季氷結す。
3、駿河灣は、海底深く、大船も岸に着くを得。

4、東京灣及び大阪灣は、最も肝要なり。

第六、我が國の海峽

一、主要の海峽

間宮海峽。宗谷海峽。丹根蒲海峽。根室海峽。
津輕海峽。浦賀海峽。鳴門海峽。由良海峽。
加太海峽。明石海峽。佐多海峽。馬關海峽。
來島海峽。對馬海峽。壹岐海峽。朝鮮海峽。
平戸海峽。臺灣海峽。澎湖海峽。

二、海峽の概說

1、間宮海峽は、有名なる間宮林藏氏の發見に係れり。
2、津輕海峽及び朝鮮海峽・臺灣海峽は、大切なり。
3、浦賀海峽は、我が國の咽喉に當り、最も大切なり。

第七、我が國の半島

一、主要の半島

知床半島。渡島半島。津輕半島。下北半島。
房總半島。伊豆半島。紀伊半島。能登半島。
男鹿半島。國東半島。彼杵半島。

二、半島の概說

1、太平洋岸には、大半島の突出多し。
2、日本海岸には、大半島の突出少し。

第八、我が國の岬角

一、主要の岬角。

宗谷岬。知床岬。納紗布岬。襟裳岬。繪鞆岬。惠山岬。白神岬。神威岬。大間岬。尻矢岬。犬吠岬。觀音岬。石廊岬。御前岬。潮岬。珠洲崎。龍飛岬。蒲生田岬。室戸岬。蹉跎岬。佐田岬。觀音岬。鶴望岬。都井岬。佐多岬。開聞岬。野母岬。速鞆岬。富貴岬。

三貂角。南岬。南西岬。近藤岬。重藏岬。

二、岬角の概説

1、主要の岬角に燈臺を設け、航海の目標たらしむ。
2、航海の安全は、之に依て補はるゝ事大なりとす。

第九、我が國の沿岸

1、我が國は數多の島嶼より成るを以て、海岸出入多く灣入岬角半島に富む。
2、一般に出入は太平洋沿岸に多く、日本海沿岸にあるものに著名なるもの少し。

3、日本海沿岸は、遠淺又は斷崖多く、船舶寄泊の良港少し。

4、太平洋沿岸は、傾斜徐々にして、港灣の良好なるもの多し。

第一〇、我が國の海岸線

一、海岸線の全長

1、水陸相接するの線なれども、通常百尋線の所を以て水陸の分界とせり。

2、我が國海岸線の全長は、約七千八百里に達す。

二、大島の海岸線

北州島　約　六五〇里。
本州島　約二四七五里。
四國島　約　六七六里。
九州島　約一八四七里。
臺灣島　約　三五二里。
南樺太　約　三二〇里。

三、海岸線の概説

1、面積に比して、海岸線の長き事世界に稀れなり。

2、特に九州の西岸及び瀬戸内海沿岸は、海岸線長し。

3、北州島及び臺灣島は、沿岸平直にして海岸線短し。

4、關東以西の早く開け、奥羽・北州等の開發遲かりしも、亦海岸線の狀況によること大なり。

四、海岸線と文明

1、海岸線が面積に比し、割合に長き國は、半島・港灣・島嶼の多きを示せるを知る。

2、海岸線の長短は、一國文明の進歩に大なる關係を有することを認む。

第一一、我が國の近海

1、領海　一國の領海とは、海岸より三里以内とす。故に我が國の領海の面積は、頗る大なり。

2、海面　近海の海面は樺太及び北海道の一部を除き、他は皆氷結せず。

3、交通　日本海々岸及び臺灣海峽を除き、一般に風浪穩かにして、航通便利なり。

4、水産　水產甚だ多く、殊に北州及び樺太の沿岸は、世界三大漁場の一と稱せらる。

5、海流　寒暖の二流流る。親潮・レマン海流は、寒流にして、黑潮及び對馬海流は、暖流なり。

6、潮流　瀨戸內海は急激なる潮流を生じ、馬關及び鳴門海峽の如きは、船舶の航行に不便を與ふること大

なり。

7、昇降差　日本海岸と太平洋岸とは、海水の昇降に大差あり。有明の海は十八尺、佐渡は約一尺なり。

第一二、我が國近海の海流

一、主要海流

1、黒潮　日本海流と稱す。臺灣の東岸を北流し、琉球諸島を經て、四國・本州の南岸を洗ひ、犬吠岬に於て東に

折れ、金華山附近に至りて、次第に海岸を離れ太平洋中に向ふ。

2、對馬海流　黒潮の一支流なり。

琉球諸島に於て、本流と別れ、九州島の西海岸を洗ひ、對馬を繞り日本海に入り、本州及び北州の沿岸を進行し、宗谷海峽を經、千島列島の西岸に從ひて北上す。

3、親潮　一に千島海流と云ふ。

北東のベーリング海峽より來り、千島列島及び北州島の東南岸を洗ひ、更に奥羽の東海岸を南下して、金華山沖に至りて消ゆ。

二、海流の影響

黒潮の流るゝ所は、鰹其他の水産物に富む。寒流の流るゝ所は、昆布其他の水産物に富む。暖流は氣温を高め、寒流は氣温を降らしむ。寒暖二流の衝突は、雲霧を生せしむ。

第一三、我が國の地形

一、三大山系

1、樺太山系　樺太の地體をなせる山脈と、其脈を通ずるものにして、北州に入り南北に走る。

2、崑崙山系　支那一部の地體をなせる崑崙山系の一なる北嶺の餘波にして、九州に起り東北に走る。

3、臺灣山系　臺灣の地體をなし、南北に連亘す。最高峯を新高山（モリソン山）といふ。

二、三大火山脈

1、富士火山脈　樺太山系及び崑崙山系の相對せる中間にあり。内地第一の富士山を起し、其脈伊豆諸島を經て、遠く太平洋中のマリアナ群島に達す。

2、霧島火山脈　南方臺灣より來りて、琉球諸島を經九州に入り、開聞岳・櫻島等を起し、霧島山に至り、更に温泉岳・多良岳に至りて止む。

3、千島火山脈　カムチヤッカより來り、千島列島を起し知床岬より北州に入り、良牛岳・雌阿寒山・雄阿寒山・石狩岳を起し、海を超えて本州に入る。

三、火山

1、三大火山脈及び數多の小火山脈、國内に連亘す。

2、故に至る所火山甚だ多く、活火山の數少なからず。

實に我が國は有名なる火山國なり。

四、地震

1、我が國は有名なる地震國なり、古來大震害甚だ多し。

2、明治廿四年十月の濃尾地震は、近來の大地震なりき。

第一四、我が國地體上の名稱

一、北日本・南日本

富士火山脈以北を北日本と稱し、富士火山脈以南を南日本と稱す。

北日本　南日本

1、平野多く河流大なり。　平野少く河流小なり。

2、概氣温低く雨量少し。　概氣温高く雨量多し。

3、寒流東海岸を流る。　暖流南海岸を洗ふ。

4、樺太山系の骨髓たり。　崑崙山系の骨髓たり。

5、人口の密度少なり。　人口の密度大なり。

6、古來人智の開發遲し。　古來人智の開發進々たり。

7、中心都會は東京なり。中心都會は大阪・神戸なり。
8、民情一般に敦厚なり。民情一般に輕兆なり。

二、表日本・裏日本

1、弓形を成せる我が國の凸面は、太平洋に向ふ、之れを表日本といふ。
2、弓形を成せる我が國の凹面は、日本海に向ふ、之れを裏日本といふ。

表日本	裏日本
1、出入・屈曲多く海岸線長し。	出入・屈曲少く海岸線短し。
2、潮汐昇降の差多し。	潮汐昇降の差少し。

表日本	裏日本
3、平地の大なるもの多し。	平地の大なるもの少し。
4、土地隆起する所多し。	土地陷沒する所多し。
5、夏季降雨多し。	冬季降雨多し。
6、火山少し。	火山多し。
7、交通機關能く備る。	交通機關未だ十分ならず。
8、産業の發達著し。	産業の發達未し。
9、繁盛なる都會多し。	繁盛なる都會少し。
10、古來より國都あり。	古來より國都なし。
11、樞要の開港場多し。	樞要の開港場なし。

第一五、我が國の河流

一、河流の六斜面と主要の河流

1、オホーツク海斜面〔ホロナイ川〕樺太　〔常呂川〕北州

2、太平洋斜面

釧路川　北上川　十勝川〕北州

利根川　木曾川〕本州

天龍川　紀ノ川〕本州

吉野川　阿武隈川〕

五箇瀬川　仁淀川〕四國

3、東支那海斜面

筑後川　大淀川〕九州

川内川　球磨川〕九州

4、臺灣海峽斜面〔淡水河　濁水溪〕臺灣

5、瀨戶內海斜面

太田川　西大川〕本州

東大川〕加古川〕本州

6、日本海斜面

江ノ川　千代川

朝來川　信濃川

阿賀川　最上川〕本州

御物川　能代川〕本州

石狩川　天鹽川〕北州

二、河流の概說

1、地形中央に山脈連亘し、地幅狹きを以て概急流なり。

2、故に河流は、多くは兩斜面に排水走流す。

3、中流以下、所謂下流の流水、緩かなるもの甚だ少し。
4、流域の最も大なるは、利根川・木曾川・信濃川なり。
5、山景と相待つて、風致を添ふる河流頗る多し。
6、河流の走流力極めて強きを以て、水力の利用多し。

第一六、我が國の湖沼

一、主要の湖沼

北州　サロマ湖、網走湖、洞爺湖、
本州　十和田湖、猪苗代湖、霞ヶ浦、蘆ノ湖、中

禪寺湖、琵琶湖、印旛沼、中海湖、宍道
湖、八郎潟、
九州　鳴生田池、池田湖、

二、琵琶湖

1、琵琶湖は、近江の中央にあり、湖上汽船相往來し、我が國第一の大湖にして、其水は、勢多川となりて流る。
2、京都疏水、長さ約三里、大津より京都東山の南禪寺に至る。
3、京都の水面は、湖水より低きこと約百二十尺なるを以て、水勢非常に強く、水力の利用甚だ大なり。

三、霞ケ浦

1、霞ケ浦は、常陸の東部にある我が國第二の大湖にして、北浦と相通じ、汽船の往來繁く、利根川の水を合せて海に入る。

2、常總地方と東京との間、漕運の便甚だ多し。

四、湖沼の概説

1、我が國は、一般に大湖に乏しく、面積の廣きものなし。

2、從て航運の用に供するもの少く、僅に琵琶湖・霞ケ浦等を稍々著しとするのみ。

3、灌漑の用に供するもの甚だ多し。琵琶湖・霞ケ浦・猪

苗代湖の如き是れなり。

4、水源涵養の用をなすもの多し。猪苗代湖の疏水、琵琶湖の疏水、中禪寺湖の大谷川等の如き是れなり。

5、魚族の繁殖に適するもの多し。中禪寺湖・猪苗代湖・琵琶湖の如き是れなり。

6、他の天然物と相供うて、風景の美を保つもの多し。琵琶湖岸・猪苗代湖岸の風景の如き是れなり。

第一七、我が國の氣候

一、我が國の溫度

1、氣溫の最も高きは、臺灣及び小笠原群島にして、加賀の金澤は、約三十八度に達せることあり。

2、氣溫の最も低き所は、北州の上川にして零下約四十一度に達せることあり。

3、年平均に見るに我が國の大部分は、約十度乃至十五度の間にあり。

二、我が國の雨量

1、雨量の最も多きは、臺灣の北東部、九州の東南部、四國の南部、紀伊の南部、飛驒の北部及び加賀・能登の沿岸なり。

2、雨量の最も少き所は、瀨戶內海沿岸。信濃地方、奧羽の中部、北州の

東北岸等なり。

3、表日本は、夏季に雨量多し。是れ表日本は、夏季は南東季候風主として吹き來り、太平洋の濕氣を多量に運び來るを以てなり。潮岬・大島等の雨量の多大なるは是れに依る。

4、裏日本は、冬季に雨量多し。是れ裏日本は冬季は北西季候風主として吹き來るを以てなり。高田を始め越後各地の雪を以て名高きは、主として是れによる。

三、我が國の風向

1、夏季の風は、主として南東風なり。南東風は、多量の濕氣を運び來るを以て、表日本は雨量多し。

2、冬季は北西風主として吹き來るを以て、裏日本は一般に雨量多く、殊に越後及び加賀・能登は頗る多し。

3、我が國は、暴風屢々吹き來るを常とす。就中陰曆二百十日、二百二十日頃に最多し。此暴風は農家の最忌む所にして、其災害の多少は一年の豐凶に關せり。

四、我が國氣候の概說

1、氣温は低からず、高からず、中和を得たりといふべし。

2、雨量は、一般に多く、灌漑の便を與ふること大なり。

3、風向は、時に變換して一定ならず。

4、要するに天産の分布、住民の生活等によく適し、頗る良好なる氣候なり。

第一八、我が國の天産

一、我が國の動物

1、陸生動物には、牛・馬等の如き有用なるもの多く、獅子・虎の如き猛獸を缺き、山椒魚・水牛・ハブの如き、珍奇なるもの多し。猿は四國に、熊は北州に最も多し。

2、海生動物には、臙虎・膃肭獸等ありて、千島列島・樺太近海に多し。北州は、水産物に富み、鯡・鮭・鱒・昆布等頗る多く、世界三大漁場の一と稱せらる。樺太の鮭其他の水産物は、殊に多しとす。

二、我が國の植物

1、熱帶性の榕樹（ビロー）・蒲葵等は、臺灣の低地に野生し、樟樹は高地に多し。

2、櫧（カシ）・楢（ナラ）・櫟等の温帶性植物は、九州より關東地方に至る平地に生じ、奥羽の低地及び信濃・飛驒等の高原は、温帶性に屬し山毛欅を主とす。

3、寒帶性の白檜は高山に多く、偃松は其頂上若くは千島の平地に分布す。

三、我が國の鑛物

1、硫黄・石炭・銅・アンチモニー・鐵・石油・金・銀等は各地に産し、殊に越後は、石油を以て名高く、九州・北州及び磐城は石炭に名高し。

2、石炭は東洋第一の産額を有し、銅は足尾の銅山を以て最とし、世界に於ける良好品と稱せらる。

四、天産の概説

1、地域寒・温・熱の三帯に跨り、各種の天産を包有す。

2、生物殊に魚類の種屬に富み、其産額莫大なり。

第二章　地方誌

第一　關東地方

一、關東地方の位置

約我が國の中央部を占め、東部及び南部は、太平洋に面し、北より南にかけては、越後山脈及び關東の諸山脈連亘し、東北地方と本州中部地方とに境を接せり。

二、關東地方の地形

域内の大部は、利根川及び荒川の流域に屬す。其流域は所謂關東平野をなし、平野廣く土地肥沃、農耕に最も適

す。海岸は房總・三浦の二半島突出して、東京灣を抱き、犬吠岬は東方に突出し、九十九里濱と鹿島洋とを分つ。兩者の沿岸は共に平低なる沙濱なり。

三、關東地方の河流

1、利根川は、關東平野の大河にして、源を上野の山地に發す。別に坂東太郎の稱あり。流域は上利根川・中利根川・下利根川と稱せられ、霞ヶ浦・北浦の水を合せ、銚子に至りて海に注ぐ。交通運輸便にして、流域は産業頗る盛んなり。

2、隅田川は、上流を荒川と云ふ。源を秩父山中に發し、東京市を二分して東京灣に入る。近來河口浚渫築港の議あり。

3、多摩川は源を關東山脈に發し東京灣に流入す。其水は水道を設け東京市内に之を引き市民大部の飲料水となる。

四、關東地方の産業

地形上土地平野多く、且肥沃なるを以て、農業盛大にして各種の農産物に富む。殊に埼玉の麥は、茨城と共に我が國最多の産出あり、米も亦た産額多く、全國の約七分の一を出せり。

工藝品は東京市を始め各地に頗る多く、殊に桐生・足利の絹織物は最も有名なり。絹織物業の盛んなるは、群馬・埼玉を始め、養蠶製絲の業盛大なる結果なり。其他海濱の漁業及び醬油・鹽等の製造極めて盛んなりとす。

五、關東地方の交通

域内は帝國第一の平野なるを以て、大河・大湖に富み、水運の利頗る大なるものあり。東京灣を利用し、太平洋を

利用し、利根川を利用して自由自在に本地方の中部に至るを得べし。

鐵道は、其分布クモの巢に似たるものあり。東京を中心として新橋・品川・新宿・飯田町・上野等の各停車場より、全國各地の鐵道と連絡を通ず。

故に各都會地の交通は、頗る便利にして、各地産業の發達は、交通機關の發達と共に繁盛の傾向を有す。

六、關東地方の行政區劃

府縣名	管轄區域	府縣廳所在地
東京府	武藏中部・伊豆・小笠原の各諸島	東京市
神奈川縣	武藏南部・相模	横濱市

埼玉縣	武藏の北部	浦和町
千葉縣	安房・上總・下總の大部	千葉町
茨城縣	常陸・下總の北部	水戸市
栃木縣	下野	宇都宮市
群馬縣	上野	前橋市

東京府

一、東京府の地形

1、東京灣に臨み、隅田川下流の地域を占む。

2、地形平坦にして丘陵の外、山岳なるものを見ず。

二、東京府の河流

1、隅田川は、東京市中を流れ、約八里船を通ず。下流の東京灣に入る所は、近時土砂浚渫築港の計畫あり。

2、多摩川の水は東京市民大部の飲料水となる。

三、東京府の地方誌

1、東京市は隅田川の河流に跨り、人口約二百萬世界有數の大都會なり。もと江戸と稱し德川幕府の所在地たりしが、明治元年帝都となる。

2、行政上麹町・日本橋・京橋・芝・麻布・四ッ谷・赤坂・牛込・神田・小石川・本郷・下谷・淺草・本所・深川の十五區に分つ。建物の主要なるものは、諸官衙・帝國議事堂・東京帝國大學・博物館・大使館・公使館、其他農商工の建物頗る多し。

3、八王子は多摩川の流域に位し機業盛んなり。

四、東京府の交通

1、日本橋は、全國道路の發點にして、品川・新宿・板橋・千住等は東海道・中山道・雨毛・常總地方に至る主要道路の門戸なり。

2、鐵道は新橋・上野・兩國橋・飯田町を起點として、全國に通じ、市内には、電車鐵道縱橫に通ず。

五、東京府の産業

1、東京府は我國産業の大中心にして、資本金の多額なる銀行の多き、會社の種類に富める等、誠に全國に冠たり。

2、産業の主要たるものは、綿絲紡績・諸器械の製造・洋紙・製革・雜貨・淺

草海苔・錦繪・織物等にして、亦造船の數は近時著しく增加せり。

六、伊豆諸島

大島・八丈島等の火山島より成り、遙に南方の硫黄列島と共に富士火山脈の通ずる所なり。

七、小笠原諸島

父島・母島等より成り、砂糖・香蕉・鳳梨・鱠鰕を名産とす。殊に砂糖の産出は、近來甚だ增加せり。

二見港は、父島に於ける良港なりとす。

八、東京府の概說

1、帝國の樞要なる地域中の、最も肝要の位置を占む。

2、明治元年以來、帝都の所在地なるを以て殷盛なり。

3、東京市は全國に於ける政治・學術・工藝の大中心をなす。

4、現時の東京市は所謂東洋文明の中心をなせり。

神奈川縣

一、神奈川縣の地形

1、西部は山地にして、關東山脈は丹澤山・大山等を起し、箱根山に連亘す。

2、南部は耕地相連り、三浦半島の丘陵地を除き、一般に平坦なり。

二、橫濱港

1、橫濱市は縣廳の所在地にして、東京の咽喉に當り、神戸と共に我が國

開港場の首位にあり。

2、本港は本牧岬の突出及び防波堤とにより、風浪の患少く、二萬噸以上の大船も入港するを得べし。

3、故に碇泊の船舶常に輻輳し、其繁盛なる誠に驚くべきものあり。在留外人の數は、我が國第一とす。

4、主要なる輸出品は羽二重・生絲及び茶とし、鐵・綿・砂糖・米・石油・羊毛・麥粉・機械等を主要なる輸入品とす。

三、神奈川縣の産業

1、各地一樣ならざれども、農業及び養蠶は其主要なるものなり。海濱の民は漁業に從事す。

2、各都邑にありては、工藝品の製造に從事するもの少なからず。浦賀の造船所、鎌倉の鎌倉彫等は其主なるものなり。

四、神奈川縣の地方誌

1、橫須賀は、第一海軍鎭守府の所在地にして、海軍工廠及び海軍機關學

校あり。

2、久里濱は、浦賀の附近にあり、有名なるペルリの上陸地なり。

3、鎌倉は、三浦半島の頸部にあり。源氏幕府の舊地にして大佛・八幡宮・鎌倉宮・賴朝の墓等の名跡甚だ多く、附近には金澤・江の島等の遊覽地あり。

4、大磯・國府津等は、鎌倉の以西にあり。氣候溫和にして心身の保養に頗る適せり。

5、箱根山は、舊噴火山にして、山頂に蘆ノ湖を湛へ、風景頗る佳なり。近傍は、溫泉に富む。

6、觀音崎は、富津と相對して、東京灣の口を扼し、三崎には東京帝國大學の臨海實驗所あり。

五、神奈川縣の概說

1、帝國の要所を占め、外國交通の咽喉に當り、外國人の在留するもの、我が國第一なり。

2、名所舊跡頗る多く、温泉及び海水浴地・保養地、亦其數に富み、他府縣人の集り來るもの多し。

3、我が國第一の開港場たる横濱市及び我が國第一の軍港たる横須賀港を有す。

埼玉縣

一、埼玉縣の地形

1、關東平野の要部を占め、東京府の北に位置せり。

2、地形西方なる秩父地方を除くの外は、大半平野にして、荒川其中央を

流る。

二、埼玉縣の産業

1、利根川に近き地方には稻の耕作多く、次第に西方に至るに從ひ乾燥なる臺地となり、麥の栽培及び桑の植附多く、養蠶業盛んに行はれ、絹絲及び絹織物多し。

2、麥の産額は茨城縣と共に我が國の首位にあり。

三、埼玉縣の地方誌

1、浦和は、縣廳の所在地なり。近傍は茶・織物を産す、

2、熊谷は、穀物・織物の取引盛んなり。

3、川越は、絹織物・甘藷・茶の集散地なり。

4、大宮には、日本鐵道會社の大工場及び氷川神社あり。

5、秩父山中は、一大盆地をなし、大宮鄉は秩父絹を産す。

四、埼玉縣の概説

1、農耕の業盛んにして、麥の産額は我が國第一なり。
2、機業家多く織物は各種の産に富み、産額甚だ多し。
3、荒川は、東京市を二分する隅田川となり風致あり。

千葉縣

一、千葉縣の地形

1、西北方及び北方は、利根川及び江戸川に境す、他の三面海に瀕す。
2、北部は關東平野の一部にして、習志野・小金ヶ原等の原野及び印旛沼・手賀沼等の湖沼ありて、土地一般に肥沃なり。

3、南部の房總半島は、丘陵諸處に存し、鹿野山・鋸山等の勝地あり。

二、千葉縣の産業

1、水産業盛んにして、鰯・鰛・鰹・鯖を産し、就中九十九里濱の鰛を以て最も名ありとす。
2、農産には麥類・米穀・甘藷・雞・豚を出し、又房州砂・薪炭・材木を産す。
3、銚子の醬、佐原の清酒、流山の味淋、野田・銚子の醬油・味噌等殊に名高し。

三、千葉の地方誌

1、千葉町は、縣廳の所在地にして、東京へ積出し多し。
2、佐倉附近は、所謂佐倉炭を産し、東京へ積出し多し。
3、佐原は、地理學者伊能忠敬先生の生地にして、又清酒の産に名あり。
4、銚子は、本銚子・銚子・西銚子等より成り、人口約三萬あり。其港は、利根川の河口にありて、同河水運の起點なれども、港口狹く、海上よ

り大船入る能はず。

5、犬吠崎には、有名なる燈臺あり、其附近は暗礁多く、航海危險なりとす。

6、北條・銚山・木更津等は漁業の一中心をなし、又心身の保養に適せり。

四、千葉縣の概說

1、近海は水產物に富み漁利頗る多し。殊に九十九里濱の鰮を以て最となす。

2、農業盛大にして麥類・豆類・雞・豚等の產に富めり。

3、北部平野には、都邑の配置に從ひて、總武鐵道・成田鐵道・房總鐵道敷設せられ、交通甚だ便利なり。

4、成田には成田不動尊ありて參詣する者常に絶えず。

茨城縣

一、茨城縣の地形

1、北部は山地多く、南部は平野廣く、霞ヶ浦・北浦の大湖あり。一面平坦にして、僅に筑波山の隆起を見るのみ。

2、筑波山は、海拔約三千尺、平野の間に屹立し、山形頗る佳にして、遠くより之れを望むべし。

二、茨城縣の河湖

1、久慈川は、北部の山地より流れ出づ。那珂川は其南にありて、縣内を殆んど南北に二分す。

兩川の上流地方は、林產多く又石炭の產に富めり。

2、霞ヶ浦は、本邦第二の大湖にして、周圍約三十四里鯉及び鮒・鰕等を產す。利根川と相侍つて、水運の便頗る大なりとす。

三、茨城縣の產業

1、米田及び畑の分布よく、埼玉縣に似たるものあり。
2、農業及び養蠶業盛んにして、薪炭・茶・烟草・蒟蒻・生絲等を産す。
3、海濱には水產業行はれ、食鹽・鰹其他を産し、大湖沿岸は耕地に富む。
4、結城地方は、機業行はれ、栃木縣の眞岡地方に亘りて一帶に盛んなり。

四、茨城縣の地方誌

1、水戸市は、那珂川の南岸に位し、縣廳及び常盤公園あり。附近の地は太田地方と共に、烟草の産を以て著る。
2、濱は、那珂川河口に位し、海運の便あり、水戸市の外港たり。
3、土浦・石岡等は、各霞ヶ浦の盡頭に位し、商業行はる。
4、結城は、油の産に名高し。
5、古河・下舘・眞壁は、農產物の集散地なり。
6、牛久には、有名なる牛久葡萄園あり。

五、茨城縣の概說

1、農業盛に行はれ、小麥・煙草は、我が國の首位にあり。

2、北部より産する無煙炭及び材木は共に有名なり。
3、水戸には德川光圀卿其他勤王に志を傾けられし忠烈の士人多かりき。

栃木縣

一、栃木縣の地形

1、北西には火山脈連亘し、那須山・高原山・男體山等の火山峙ち、附近は溫泉の湧出多し。
2、南部の平野は鬼怒川及び利根川の流域にして、那須野の荒原は廣大なり。

二、栃木縣の河流

1、那珂川は縣の北部を流れ、下流は水戸附近の平野を過ぎて海に注ぐ。
2、鬼怒川は、源を中禪寺湖に發し、利根川の一支流をなす。流域は養蠶・織物業行はる。

三、栃木縣の産業

1、那珂川・利根川の流域なる縣の大部は、平野多きを以て、農耕行はれ、女子は其傍養蠶・機織の事に從ふ。
2、麻の產出は我が國第一に位し、桑葉・干瓢の產亦多し。
3、日光の日光塗、羊羹名高く、壁子は陶器を出す。

四、栃木縣の地方誌

1、宇都宮市は、交通の要衝に位し、縣廳の所在地なり。
2、栃木は、絹絲・材木の取引多く、市況盛んなり。
3、足利は、關東屈指の機織地にして、足利絹の產地なり。

4、日光は、男體山附近の山地にあり、壯麗無比の日光廟と天然の風光とを以て知らる。
5、足尾は、渡良瀨川の上流に位し、我が國第一の銅山あるを以て、盛大なる都會に發達せり。

五、栃木縣の概說

1、大麻・煙草の產額は甚だ大なり。
2、眞岡木綿を始め、織物業盛んにして、其產額多し。
3、壯麗なること東洋無比と稱せらるゝ日光廟あり。
4、足尾の銅は品質の良きこと東洋第一と稱せらる。
5、那須野荒野は、面積廣く、古來より名あれども產物としては、薪及び炭等あるに過ぎず。

群馬縣

一、群馬縣の地形

1、縣の大部分は、山地に屬し、赤城・榛名・妙義等の諸山所々に存在す。
2、平野は、西北より東南に向ひて斜めに海に延ぶ。

二、群馬縣の産業

1、養蠶業は、頗る盛大にして、製絲は座繰を主とし、其産額長野縣に次ぎ、前橋市之が中心となる。
2、絹織物業は、其産額石川縣に次ぎ、桐生之が中心たり。
3、平野には、米・麥・藍・菜種を産し、山地及び墾地には、馬鈴薯・烟草・椎茸・楮及び石炭・硫黄等あり。

三、群馬縣の地方誌

1、前橋市は縣廳の所在地にして、市況盛んなり。
2、高崎は、前橋と共に交通の衝に當り、繭・生糸の取引多し。

3、伊勢崎は、織物業盛大にして、伊勢崎銘仙を出せり。
4、桐生は、北日本第一の機業地にて、上州絹の本場たり。
5、富岡は、縣の南西部にありて、盛大なる製絲場あり。

四、群馬縣の概説

1、長野・福島の二縣と、共に我が國の三大養蠶地と稱せられ、製絲及び機業頗る盛大なり。
2、從て本縣の都會の盛衰は、養蠶業の發達と密接の關係を有するもの多し。
3、住民の大部は、殆んど農耕養蠶に關する業務を營む。
4、富岡の製絲場は、我が國中の模範製絲場と稱せらる。
5、温泉及び火山の分布廣く有名なるもの頗る多し。

第二　奥羽地方

一、奥羽地方の位置

本州の北部を占め、北は津輕海峽を隔てゝ、北州島と相對し、南は關東地方に隣す。東は太平洋に臨み、西は日本海に面し、一部は本州中部と相接す。

二、奥羽地方の地形

那須火山脈は、本地の中央を南北に走りて、大分水界をなし、太平洋斜面と日本海斜面とを相分つ。これと相幷走して北上山脈・阿武隈川山脈東部を貫き、

鳥海火山脈は西部を縫ひて走る。是等三列の山系により、地形は其間に流るゝ河流と相力して數多の盆地を作る。

海岸は東海岸には出入屈曲多きも、西海岸は一の男鹿半島の八郎潟を抱くの外に見るべきものなし。津輕及び斗南の二半島は相共に大なる陸奥灣を抱けり。

三、奥羽地方の河流

河流の大部は中部の大分水山脈に發し、二大斜面に注ぐ。而して西部の河流は山脈を縫ひてへ字形に屈曲するを見る。最上川・御物川・能代川は其主なるものなり。東に流るゝ大河には北上川・阿武隈川の二川あり。各同名

の山脈に添うて流る。

1、阿武隈川は、福島縣の中部を流れ、太平洋に注ぐ。其流域は土地肥沃桑葉の繁茂に適す。故に此地方は我が國有數の産業地たり。福島より下流舟を通ず。

2、北上川は、陸中の北西部より發し南流して、石の卷に至りて海に注ぐ。一は分れて追波川となる。流勢緩徐にして漕運の便多し。

四、奥羽地方の産業

氣候寒冷なるが上に山地多く耕作地割合に少きも、農業は各地を通じて一般に行はる。

河流の沿岸は桑葉の繁茂に適し、蠶業は頗る盛んなり。

山地多く林産に富む。殊に秋田を以て最とす。

牧畜業は福島及び岩手の兩縣を以て最も盛大なりとす。

要するに奥羽は面積の割合に人口稀少なるを以て産業の未だ見るに足るもの多からずとす。

五、奥羽地方の交通

鐵道は東岸及び西岸に各一條あり。東岸は日本鐵道會社線にして、西岸は官設奥羽線なりとす。

今や次第に陸上の交通は鐵道に支配せられ海上亦汽船の往來漸次頻繁ならんとすれども、良港のなきは大なる缺點なりとす。

六、奥羽地方の行政區劃

縣名	管轄區域	縣廳所在地
福島縣	(磐城の大部 岩代	福島町
宮城縣	(陸前の大部 磐城の北部	仙臺市
岩手縣	(陸中の大部 陸前・陸奥の小部	盛岡市
青森市	(陸奥の大部	青森市
秋田縣	(羽後大部 陸中小部	秋田市
山形縣	(羽前 羽後南部	山形市

福島縣

一、福島縣の地形

1、本縣は面積廣大奥羽地方の咽喉に當り、地形上三部に分る。
2、東部は、海岸地方にして、氣候溫暖風景に富めり。
3、中部は、所謂中通りにして、阿武隈川の流域に當る。
4、西部は、會津の一大盆地をなし、中央は會津平野をなせり。

二、福島縣の河流

1、阿武隈川は、殆んど中部を流れ、流程約七十七里、漕運の便少なきも域内は土地肥沃桑田頗る多し。
2、阿賀川は、會津盆地の諸水を合せ、新潟附近に至りて海に注ぐ。本河は會津と新潟との重要なる交通路をなせり。

三、福島縣の産業

1、縣下を通じて、農業は主要なる産業なり。

2、養蠶・製絲の業は、本縣第一の產業にして、繭・生絲・蠶卵紙等の產額多く、我が國第二位にあり。

3、近年、川俣羽二重の產出は、頗る多く、川俣を主要產地として、附近各地より盛んに織出せり。

4、會津の漆器業及び製陶業は、次第に盛んに赴くも產額は甚だ多からず。

5、三春及び白河地方は、牧馬盛んなり、殊に三春は本縣產馬の中心たり。

6、磐城平附近の石炭は、採掘盛大にして各地に輸出す。

四、福島縣の地方誌

1、福島は、縣廳の所在地にして、生絲・蠶卵紙・羽二重の取引に一大中心をなせり。

2、若松市は、會津盆地の一大中心をなし、漆器・陶器及び羽二重等を產す。松平氏の舊城下にして、明治戊辰の古戰場たり。

3、白河は、福島縣の咽喉にして、馬及び羽二重を產せり。

4、川俣は、羽二重の產地として極めて有名なり。

5、平は、其附近に石炭の產出多く市況盛んなり。

6、中村は、相馬燒を以て知らるゝも、產額多からず。

五、福島縣の概說

1、域內には火山脈連亘し火山所々に噴出す。

2、長野・群馬の二縣と共に三大養蠶地の一と稱せらる。

3、桑畑の面積の多きこと、我が國の首位にあり。

4、主要產物たる羽二重の產出は、近年次第に多きに至り、その產額三百萬圓あり。

5、石炭の採掘と馬の產出とは共に世に名高しとす。

宮城縣

一、宮城縣の地形

1、縣內南より北に亘れる山脈あれども、中部地方は肥沃なる平原にして河水灌漑に便利なり。

2、牡鹿半島は突出して、太平洋の水を限り、仙臺灣を抱く。

二、宮城縣の河流

1、名取川は、縣の南部を流れ、埋木を産するを以て名あり。

2、鳴瀨川は、古川より野蒜附近に至りて、海に注げり。

3、北上川及び阿武隈川は、下流のみ此縣を流る。

三、宮城縣の産業

1、過半は、農業を主とし耕作に從ひ、傍蠶業を營めり。仙臺米及び豆類・茶・味噌・醬油等を産す。

2、海岸は、漁業盛大に行はれ、鮪・鰹の漁利大なりとす。

3、製絲は、座繰最も多く、本縣有數の産業なり。

4、其他工藝品には、生絲・眞綿・仙臺平・八橋・埋木細工・溫麵・硯材等を名産とす。

四、宮城縣の地方誌

1、仙臺市は奥羽地方の一中心なり。伊達氏の舊城下にして。東北には日本三景の一なる松島あり。

2、鹽釜は松島灣に臨み、船舶常に輻輳せり。

3、石卷及び荻ノ濱は漁場の中心をなし、又寄泊地をなす。

4、金華山は、牡鹿半島の南端にあり、附近は水産物多し。

五、宮城縣の概說

1、宮城野は、廣大にして、米及び麥類の産出多しとす。

2、北部北上川流域の海岸地方には、沼澤多しとす。

3、仙臺市に於ける埋木細工は世に有名なり。
4、小島數百碁布せる日本三景の一なる松島を有せり。

岩手縣

一、岩手縣の地形

1、面積頗る大にして、西境には中央火山脈聳え、岩手山長く裾野を引く。
2、東部には、早池峰を盟主とせる北上山脈蹈れり。

二、岩手縣の産業

1、農業は、河流の沿岸・平野及び臺地に行はれ、亦南部地方には、牧畜行はる。
2、海岸は漁業行はれ、鑛業亦盛んにして殊に釜石の製鐵事業は甚だ有望なり。

三、岩手縣の河流

北上川は、本縣の中部を流れ、下流は二脈に分れ、一は南流して石卷に至り、牡鹿灣に入る。一は追波川と云ふ、北東流して太平洋に注ぐ。流勢概れ緩徐漕運の便多し。

四、岩手縣の地方誌

1、盛岡市は、縣廳の所在地にして、鐵瓶・果物・紬等を産す。
2、水澤は、有名なる緯度觀測所の所在地なり。
3、一ノ關・黑澤尻は、交通上の要所にあり。
4、山田は、良港を有し、船舶集り漁業の中心をなせり。
5、大船渡は、灣入頗る佳良にして、近時築港の計畫あり。

6、釜石は、附近鐵を産し、本邦唯一の私立製鐵所あり。

五、岩手縣の概

1、鐵及び稗の産額は、我が國第一なりとす。
2、水産物は、豐かにして、殊に鰯の産額大なり。
3、近海は、濃霧多く航通危險の恐ありとす。

青森縣

一、青森縣の地形

1、八甲田山・恐山・岩木山の火山聳え、三面海に面し、下北・津輕の兩半島、相對して陸奥灣を擁す。
2、一般に本縣は、地形頗る錯雜せり。

二、青森縣の河流

1、馬淵川は、交通路をなし肝要の位置にあり。
2、岩木川は、津輕地方の平野を養ひ、農産豐かなり。

三、青森縣の産業

1、農業は本縣唯一の産業にして、殊に津輕地方に行はる。
2、牧畜業は、古來より行はれ、殊に三本木を以て最も盛んなりとなす。
3、山林に富み、林業盛んにして、材木は鐵道枕木其他の用に供すべく、東京を始め各地に輸出す。
4、水産業は沿海の地に行はれ、殊に三戸に盛んなり。
5、牧畜は、牧馬を主とす。三本木牧場は、其中心をなせり。

四、青森縣の地方誌

奥羽地方　青森縣

1、青森市は、縣廳の所在地にして、北海道に渡る要津なり。近時函館との間に電話開達せらる。

2、弘前市は、津輕平野の中心地なり。第八師團司令部の所在地にして、漆器・蔓細工を産す。

3、大湊は陸奥灣の最も入込める所にあり。海軍要港なり。

4、湊と鰺との二港は共に漁業の中心をなせり。

五、青森縣の概說

1、本州の北端の地域を占め、氣候は至て寒冷なり。

2、恐山・八甲田山等は、奥羽火山脈の盟主にして、其他一般に火山多し。

3、八甲田山の裾野は、牧場に適し、良馬を産するを以て名あり。

4、林業盛大なること稀に見る所、亦林檎の産名あり。

5、近海は、漁利多く、殊に鱈は多額の産を以て名あり。

一、秋田縣の地形

1、地形長方形をなし、西方は海に臨む。

2、域内は、鳥海火山脈連亘して河流の間を縫ふ。

二、秋田縣の河流

1、河流は、火山脈の切れ目を縫ひ、へ字形に曲流す。

2、御物川の流域は、廣大なる秋田平野をなせり。

三、秋田縣の産業

1、林業は、山林の面積最も廣大なること、我が國第一にして林政よく調ひ、收益大なること亦我が國第一なり。

2、農業は、肥沃なる低地に行はれ、米穀の産出多し。

3、養蠶業は、地味肥沃桑葉の繁茂に適し、盛んなり。

4、鑛業は、諸種の鑛物殊に銅・銀等に富み、採掘盛んなり。

四、秋田縣の地方誌

1、秋田市は、縣廳の所在地なり。畝織・秋田蕗を産す。

2、土崎港は御物川河口にあり。米の積出し地なり。

3、横手は交通の要衝に當り、市況盛んなり。

4、院内は南方にあり、我が國第一の銀山なり。

5、能代港は、能代川河口にあり、春慶塗を産す。

五、秋田縣の概説

1、山林多く、國有林も廣く、收益頗る大なり。

2、諸種の鑛山に富み、銀・銅の産額は本縣の特産物なり。

3、我が國に多く産せざる土瀝青は本邦第一なり。

4、阿仁・院内・尾去澤等有名なる各種の鑛山頗る多しとす。

山形縣

一、山形縣の地形

奥羽地方　山形縣

1、四圍殆んど山に圍まれ、僅に西の一部日本海に面す。
2、域内の水は、集りて最上川となり、數多の盆地を作る。

二、山形縣の河流

1、最上川は、我が國三大急流の一なり。
2、最上川は、縣の生命にして、河口は船を泊するを得。

三、山形縣の産業

1、農業盛んにして米穀・薄荷の栽培行はれ産額多し。
2、養蠶業は桑樹の栽植と共に近時次第に開けたり。
3、絹織業は米澤市を始め新莊其他の地に盛んなり。

四、山形縣の地方誌

1、米澤市は、附近に桑畑、林檎園多く、生絲・織物の産あり。
2、山形市は、縣廳の所在地なり、もと最上と稱す。附近の平野は、最も米穀に富み、薄荷を産すること多し。

3、鶴岡は、縣下第一の米産地たる庄内平野の中心たり。
4、酒田は、最上川の河口にあり、米穀の取引盛んなり。

五、山形縣の概説

1、薄荷の栽培は盛んに行はれ、産額我が國第一なり。
2、養蠶業及び絹織物業は、一般に盛んなり。
3、縣内は、數多の盆地に分れ、一大中心たる都會をなす。
4、月山・羽黒山・湯殿山は、毎年參詣者多しとす。

第三　本州中部地方

一、本州中部地方の位置

本州の中部に介在し、東は關東地方及び奥羽地方に接し、南は太平洋に臨み、北は日本海に臨み、西部は近畿地方と相接せり。

二、本州中部地方の地形

地形中部は高原性にして高峻なり。赤石・飛騨の兩山脈を始め、富士・那須の二大火山脈來り集る。

河流は此地形錯雜せる中部を脊梁として南北に排水す。信濃川・神通川・木曾川の流域には、平野の大なるもの多し。

海岸は日本海斜面は、能登半島の外出入少きも、太平洋斜面は伊勢の海・駿河灣等大なるものあり。

要するに地形は日本海斜面と太平洋斜面と、中部高原地方との三域に分れ、各地の狀況一樣ならず。

三、本州中部地方の河流

地形上大山系連亘し、地域廣大なるを以て、河流の大なると、水量の豐かなるものと多し。

信濃川は日本海斜面中の大なるものにして、是れに次ぎ

て阿賀川・神通川等あり。

木曾川は太平洋斜面中の大なるものにして、是れに次ぎて天龍川・大井川・富士川等の諸川あり。

四、本州中部地方の産業

一般に此地方は各種の産業よく發達して見るべきもの多しとす。

養蠶業は、長野縣を第一とし、山梨縣之れに次で行はる。

農耕の業は、各地に行はるゝも、特に越後の平野及び濃尾の平野を以て最とし、米及び桑業の産大なり。

林業も亦山林に富み各地に行はる。就中長野の木曾山中、靜岡の天城山を以て最とす。

工業は、各種一般に行はるゝも陶器・漆器の製造は、最も盛んなり。

亦綿絲紡績・製絲・製紙等の業も盛んなり。

機業の盛んなるは石川・福井・山梨等を以て最とす。

五、本州中部地方の交通

道路は地形高峻なるを以て、一般に中部は交通甚だ不便なりしが、鐵道の發達と共に次第に除却せらる。

鐵道の主要なるものは左記に示す如し。富山・直江津間も目下測量と共に作業に從事せるを以て、開通を見ること遠さにあらず。

1、官設東海道線　6、官設信越線

二　本州中部地方

2、官設中央線
3、官設篠井線
4、官設北陸線
5、七尾鐵道
7、北越鐵道
8、關西鐵道
9、尾西鐵道
10、豊川鐵道

六、本州中部地方の行政區劃

縣名	管轄區域	縣廳所在地
新潟縣	(越後 佐渡)	新潟市
長野縣	信濃	長野市
山梨縣	甲濃	甲府市
靜岡縣	(遠江・駿河・伊豆ノ大部)	靜岡市
愛知縣	(尾張 三河)	名古屋市

岐阜縣 (美濃 飛騨)
富山縣 越中
石川縣 (加登 能貸)
福井縣 (越前 若狹)

岐阜市
富山市
金澤市
福井市

新潟縣

一、新潟縣の地形

1、面積最も廣大にして、北西は日本海に面し、海上には佐渡島横はれり。東南境には越後山脈連亘し、海岸地方には彌彦山・米山等の屹立するものあり。

2、米山高地以東の地は、信濃川流れ、阿賀川と共に越後平野を開き米の産額甚だ大なり。

3、米山高地より以西の地は荒川流れ稍廣き平地を作す。

二、新潟縣の河流

1、信濃川は、本州第一の長流にして、其長さ約百里汽船は小千谷まで、砦船は六日町及び松本に至る。

2、信濃川の流域は、所謂越後平野の大部をなし、米穀の産に富む。亦繁盛なる都會中には織物を産すること多し。

1、主要なるものは農業にして、米穀の産多く亦茶・藍を産す。蚕蠶は可なりに行はれ、鑑卵紙・生絲を産す。

2、石油採取業は、長岡・栃尾・尼瀬附近に亘りて、甚だ盛んにして其産額我が國第一なり。

3、機業は各地に行はれ、越後縮は透綾及絹縮を總稱す。栃尾の紬、五泉の精好平、長岡・吉田・三條の木綿皆名あり。

4、佐渡は無名燒を出し亦鳥賊の産を以て最も有名なり。

四、新潟縣の地方誌

1、新潟市は信濃川の河口に位す。開港場なれども港は泥沙の爲めに年々埋められ碇泊に不便なり。

2、新發田は新潟の東方にあり。越後北東方の要區なり。

3、五泉・小千谷・十日町・栃尾等は種々の織物を産出す。

4、高田は、冬季の深雪を以て其名著名なり。

5、直江津は、西部に於ける要津にして、交通の衝に當る。

6、佐渡島は金・銀・銅の産甚だ多く、其夷は開港場として有名なり。

五、新潟縣の概說

1、石油の産出多く我が國産出額の約九割以上を占む。

2、所謂越後米の産出多く産額我が國第一なり。

3、古來より他地方に出稼するもの多く勤勉貯蓄の良習慣あり。

長野縣

一、長野縣の地形

1、數多の山脈及び火山脈縣内に連亘す。

2、數多の河流北間を流れ所々に平地を作る。

二、長野縣の河流

1、信濃川の上流は、千曲川と稱し、川中島にて犀川を入る。川中島近傍は之れを善光寺平と稱し、上流なる上田近傍の地は之れを上田盆地、松本地方は之れを松本平と稱す。

2、天龍川は源を諏訪盆地に發し、遠江に至りて海に注ぐ。約五十里舟を通ずるを得べし。

三、長野縣の産業

1、一般に森林・原野廣きを以て田地少く、且つ氣候米作に適せる所多からず。

2、本縣主要の産業は養蠶業及び山林業なり。

3、殊に養蠶は我が國第一位を占む。

4、諏訪地方に於ける製絲業は座繰を主として事業盛大なり。

5、生絲・蠶卵紙・材木・蕎麥・寒天・眞綿を産し、殊に生絲・蠶卵紙の産額頗

る大なりとす。

四、長野縣の地方誌

1、戸野市は縣廳の所在地にして、其善光寺は有名なり。
2、上田は上田盆地の中心をなし、蠶糸・織物業盛んなり。
3、松本は松本平の中心をなし、繭の集散夥し。
4、飯田は伊那谷の中心地をなし、繁盛なり。
5、福島は木曾谷の中心地をなし、要衝の地を占む。

五、長野縣の概説

1、長野縣は四境山に圍まれ一大城廓をなせるが如し。
2、面積廣く數多の國に境し海岸線を有せず。
3、養蠶製絲の盛んなること我が國第一なりとす。
4、林産頗る多く殊に木曾山中の森林を以て最となす。

山梨縣

一、山梨縣の地形

1、高山四方を圍み一大城壁をなし、中央稍平坦にして、桑畑多き甲府盆地を作る。
2、郡内地方は自然區域をなし、殆んど平地を見ざるものとす。

二、山梨縣の河流

1、甲府盆地の水は集りて富士川上流の水を養へり。
2、郡内地方の水は東に流れて相模川の上流をなせり。

三、山梨縣の産業

本州中部地方　山梨縣

1、農耕の業は主要の産業にして殊に養蠶業は盛んなり。
2、郡内地方は養蠶・機織の業盛んにして甲斐絹の特産あり。
3、生絲及び繭の産額多く、勝沼地方は葡萄の産多し。

四、山梨縣の地方誌

1、甲府市は山梨縣廳の所在地なり。本縣唯一の中心都會にして、生絲・甲斐絹・葡萄の取引行はる。
2、鰍澤は、駿河に至る富士川舟運の航行極點地なり。
3、勝沼は附近より葡萄を産し、葡萄酒の醸造盛なり。
4、谷村は、郡内地方の中心地にして、甲斐絹の取引多し。
5、吉田は富士山の麓にあり、登山口に當り夏季賑ふ。

五、山梨縣の概説

1、養蠶頗る盛大にして、生絲・織物の産出多し。
2、一般に米田少く穀産割合に少しとす。
3、交通不便なりしが近時鐵道の便漸く備はれり。

4、笹子トンネルは我が國第一の長さを有せり。

靜岡縣

一、靜岡縣の地形

1、地形山地に富む、背後には富士・赤石等の高山聳え、河流一般に急流なり。
2、伊豆の北西より駿河・遠江の海岸地方には稍廣き平地あり。
3、富士山は山高く山形美にして、眞に火山の美を現はせり。

二、靜岡縣の河流

本州中部地方　靜岡縣

1、富士川は、山梨縣より發す、流勢急にして日本三急流の一をなす。
2、大井川は駿河・遠江二國の間を流る。古の大井川の渡は有名なり。今は平時に涸れ、雨季にのみ水量增し來る。
3、天龍川は長野縣諏訪湖に發源して、伊那谷を流下す。

三、靜岡縣の產業

1、地味肥沃にして沿海の低地は整理せられたる耕地相連り農業行はれ、三極・茶・桑の栽培に適す。就中製茶業最も盛んなり。
2、近海は暖流通過し水產物に富み、殊に鰹多く、漁業盛大なり。
3、工業は漆器・竹細工・紙・花莚等製造最も盛大なり。

四、靜岡縣の地方誌

1、靜岡市は、縣廳の所在地にして、漆器・竹細工及び茶を產し、本縣行政及び產業上の大中心地をなせり。
2、淸水は開港場にして船舶の寄港するに適す。
3、三保は、砂洲遠く連り松靑く富士山を得て風景甚だ宜し。

4、沼津附近は氣候溫和にして避寒に適せり。
5、伊豆には修善寺・熱海・伊東等の溫泉甚だ多し。
6、下田は德川時代に開港場たりし所其名著はる。
7、濱松は遠江第一の都會にして約東西兩京の中間にあり。

五、靜岡縣の概說

1、製茶業は甚だ盛にして外國に輸出する額多し。
2、氣候溫暖風景佳良にして身心の保養に適せり。
3、洋紙及び漆器・鰹節の產額は頗る大なりとす。
4、生產力大にして產業の盛んなる稀に見る所なり。

愛知縣

一、愛知縣の地形

地形概ね北東に高く、西南に低く濱海及び河谷の地は低平なり。殊に西部は濃尾平野に連り一望十里小丘を見ず。

二、愛知縣の河流

1、河流には三河に豊川・大平川・矢作川等あり。
2、尾張の西部は木曾川の流れ廣大なる平地をなす。

三、愛知縣の産業

1、各種の産業盛大なること比類少き地方なり。
2、製陶業及び綿織業は就中盛大にして、綿絲紡績・麥稈眞田・マツチ等の工業も近時著しく發達し産額大なり。
3、農業は在來より、縣民の大半是れに從事し、傍ら蚕蠶を營み米穀・蠶絲の産額亦甚だ多し。

四、愛知縣の地方誌

1、名古屋市は濃尾平野の一部なる西部の低地にありて伊勢灣に近く、東西兩京の間にあり、其市況の盛大なること三府に次ぐ。縣廳及び第三師團司令部・控訴院・高等工業學校等の所在地なり。
2、瀬戸は有名なる陶器を産す。由來此三河・尾張・美濃三國の相接する附近は陶土層に富み製陶業盛んなり。
3、有松及び鳴海は名古屋の附近にありて絞を産せり。
4、熱田は名古屋の外港にして有名なる熱田神社あり。
5、半田は醸造業の中心、武豊は良港、共に知多半島にあり。
6、岡崎及び豊橋は三河にありて繁華なり。

五、愛知縣の概説

1、産業の盛んなること殆んど他諸縣の首位にあり。
2、有名なる織田・豊臣・徳川三氏立脚の地たり。

3、陶器の産出は極めて多額なりとす。
4、綿織絲及び諸種織物の産額頗る多し。
5、近來車輛の製造額は甚だ多きに至れり。

岐阜縣

一、岐阜縣の地形

縣の大部分は濃飛高原及び其他の山脈屹立し南西の一部僅かに開き、木曾川・長良川・揖斐川の三川こゝに相會合して、所謂濃尾平野をなす。

二、岐阜縣の河流

1、木曾川は長良川・揖斐川の二川を合せ、大三角洲をなして伊勢海に注ぐ。
2、沿岸は河床より低き所多く大雨毎に溢水し水害甚だしかりしが近年三川分流工事を施し此患を除くを得たり。

三、岐阜縣の産業

1、山地は林業盛んに行はれ、平野は農業盛んなり。
2、養蠶・製絲・製紙の諸業は河川の流域に盛大に行はる。
3、飛騨の地は氣候寒冷なれども桑・麻に適し、林産に富む。
4、多治見近傍は、陶土多く陶磁器の製造行はる。
5、赤坂は大理石を産し、岐阜は提灯・團扇等に名あり。

四、岐阜縣の地方誌

1、岐阜市は縣廳の所在地にして、稻葉山の麓に位し、長良川を帶ぶ。
2、赤坂は善良なる大理石を産するを以て名あり。
3、養老山は赤坂の南方に位す。古昔より名あり。

4、關ケ原は赤坂の西方に位し有名なる古戰場なり。
5、大垣は木曾川舟運の要點にありて、米穀の集散多し。
6、多治見は製陶業の中心地をなし市況盛んなり。
7、中津は官設中央線の現時の終點なりとす。
8、高山は養蠶・紡績を業とし、春慶塗・一位細工を産す。

五、岐阜縣の概說。

1、本縣は洪水の害頗る多かりしも今は此患を除くを得たり。
2、本縣は紙の製造と陶器の産出とは至て有名なり。
3、飛驒に於ける黑鉛及び銀の産出は多しとす。

富山縣

一、富山縣の地形

1、東西南の三方面は殆んど山脈を以て圍まれたり。
2、地形北に至るに從ひ次第に低平となり田圃大に開けり。

二、富山縣の河流

1、黑部川は東部を流る、水勢疾く所々に急湍あり。
2、常願寺川及び神通川は中央部を灌流す。
3、射水川は本縣西部の地域を作る。

三、富山縣の產業

1、山地には山林業行はれ、低地には人口の密度割合に多く、農業行はれ越中米を產し又機織盛んなり。
2、越中富山の賣藥は古より名高く、今は清・韓にまで及べり。

3、沿海の地には漁業行はるゝも盛大ならず。

四、富山縣の地方誌

1、富山市は本縣第一の都會、縣廳の所在地なり。其賣藥は世上に名高し。

2、高岡市は射水川に跨り銅器の產額多し。

3、伏木は越中米の積出港として名高し。

4、魚津は海上に蜃氣樓現はるゝを以て名高しとす。

五、富山縣の概說

1、冬季は寒氣强きを以て世に知らる。

2、富山の賣藥と高岡の銅器とは世に知らる。

3、魚津の東方に親不知・子不知の險あり。

一、石川縣の地形

1、加賀の東南は高山相連り、海岸は平低なる沙濱なり。

2、能登は七尾より邑知潟を圍繞して加賀の海岸に連り、一條の平野をなすも他の多くは丘陵起伏す。

二、石川縣の河流

安宅川・手取川・犀川等あれども、何れも小流にして一般に大河を缺けり。

三、石川縣の產業

1、農業は古來より行はれ、米・麥の產多し。

2、養蠶業は一般に之れを營む。製陶業亦有名なり。絹織物は羽二重・奉書

3、織物業は至る所に行はれ、製紙に漆汁・漆器・象眼細工は有名なり。

紬を主なるものとす、外に漆汁・漆器・象眼細工は有名なり。

四、石川縣の地方誌

1、金澤市は石川縣廳の所在地なり。前田氏の舊城下にして、北陸第一の都會なり。第九師團司令部・高等學校・醫學專門學校等あり。

2、小松は絹織物殊に羽二重の一中心地をなす。

3、大聖寺及び山代は九谷燒の取引盛んなりとす。

4、山中は溫泉及び漆器の製造を以て知らる。

5、七尾は能登半島にあり。將來有望の開港場なり。

6、輪島は堅固なる漆器產地を以て知らる。

7、金石港は金澤市の港外たる位置にあり。

五、石川縣の概說

1、能登は其形手に銅貨を載せたるが如し。

2、九谷燒は本縣の特產なれども產額大ならず。

3、加賀絹は本縣に於ける重要物產なりとす。

福井縣

一、福井縣の地形

1、地形狹長にして三面山に圍まれ、西北一帶海に面せり。

2、河流の沿岸及び海岸には平地あり。

二、福井縣の河流

九頭龍川は大野の盆地を作り、日野川は武生・鯖江の盆地を作り、足羽川其中間を流れ、下流に大平野を開く。

三、福井縣の產業

本州中部地方　福井縣

1、羽二重業は第一の産業にして、福井市を中心として縣内一般にわたり産額の多きこと我が國第一なりとす。

2、是れに次ぎて農業行はれ、農産物あり。

四、福井縣の地方誌

1、福井市は縣廳の所在地にして羽二重の取引盛大なり。

2、三國港は九頭龍川の河口にあり、福井市の外港なり。

3、敦賀は日本海に於ける交通上重要の位置にあり。

4、小濱は若狹にあり若狹塗と鯛とを産す。

五、福井縣の概說

1、羽二重の産額は我が國第一にして、盛んに外國に輸出せらる、多くは重目物なり。

2、敦賀はウラヂボストクに對し重要の位置にあり。

3、若狹塗・奉書紬は名産として世上に知らる。

第四　近畿地方

一、近畿地方の位置

本州中部と四國との間に介在し、若狹灣・伊勢灣・大阪灣の三灣深く三方より入り込み、本地方を括扼す。

二、近畿地方の地形

東は鈴鹿山脈連亘し、北は中國山脈高原性の地形をなし南部は紀伊山脈連りて山地高峻を極む。

是れ等山脈の間にある低地は琵琶湖より大阪灣に向ひ、京都の平野、奈良の平野、大阪の三角洲をなせり。

三、近畿地方の産業

大阪は工業の大中心をなし綿絲紡績・硫酸・セメント・造船其他の工業頗る盛大なり。京都の工藝は之れに次ぎ友禪染・西陣織其他の産あり。此兩地の工業は現今盛んに外國輸出物を製出せり。

マッチ・酒・醬油・漆器・段通等の製作は盛んに各地に行はる。以上の外南部の森林業・漁業等は農業と共に最も盛大なりとす。

四、近畿地方の交通

鐵道は大阪市を中心として各地方に敷かれ、航路亦大阪・神戸を中樞として縱橫に各地に連絡す。

琵琶湖は常に汽船を浮べ、淀川は水量豐かにして、水利大なり。實に近畿地方は、交道機關最もよく發達し、貨物及び旅客の往來甚だ便利なり。

五、近畿地方の特色

本州の中部を占め、維新前までは歷代の帝都多く此地方にありしを以て、人文早く開け、我が國開明の基礎をなせり。

我が國工業の大中心たる大阪市を抱有せる上に尙世界交通の要衝に當れる神戸港を有せり。

地理上・歷史上・本地方、今日の發達は偶然にあらず。

六、近畿地方の行政區劃

府縣名	管轄區域
滋賀縣	近江
京都府	山城・丹後・丹波大部
大阪府	攝津東部 河內・和泉
奈良縣	大和
三重縣	伊勢 紀伊大部
和歌山縣	紀伊大部
兵庫縣	攝津西部・播磨・丹後小部・淡路・但馬・

府縣廳所在地	
大津市	
京都市	
大阪市	
奈良市	
津　市	
和歌山市	
兵庫市	

一、滋賀縣の地形

1、山脈四境に繞り、地形內地に向ひて次第に低し。

2、中央の盆地は、本邦第一の琵琶湖をなし、沿岸は平地廣し。

二、滋賀縣の河流

縣內の水は集りて琵琶湖に入る。湖の水は流れて瀨多川となりて淀川に通じ、一部は京都疏水となりて京都に水を給す。

三、滋賀縣の產業

1、人民一般に農業を主とし又養蠶・紡績も盛んなり。

2、本縣は古來より行商を營む、所謂近江日野・八幡の商人は其足跡全國に遍し。

3、琵琶湖の水產物は鮒を始め各種の淡水魚族を產す。

4、長濱の縮緬を始め近江蚊帳等各種の織物を多く出す。

四、滋賀縣の地方誌

1、大津市は湖の岸に位し、縣廳の所在地なり。京都に近く大切なる位置にあり。

2、長濱は長濱縮緬を産するを以て名高し。

3、日野・八幡は近江商人を以て名高く、麻織物の産多し。

4、彦根は湖の東に位し。井伊氏の舊城下たり。

5、湖岸には比良の暮雪、堅田の落雁、唐崎の夜雨、三井寺の晩鐘、石山寺の秋月等の名勝あり。

五、滋賀縣の概說

1、琵琶湖は本邦第一の大湖にして近江の約六分一を占む。

2、長濱縮緬・近江蚊帳等は世に名高く本縣の特産とす。

3、縣人は近江商人の名ありて古來より商業思想に富む。

4、近江八景、湖の沿岸にあり、古來より其美を以て著はる。

京都府

一、京都府の地形

1、北西部は丹波山地と與謝半島とより成り、日本海に面す。

2、南東部には京都平野あり。東山・鞍馬山・嵐山等之れを圍み淀・木津・桂川の落ち合ふ所なり。

二、京都府の河流

1、桂川・加茂川・宇治川は南部に於て相合して淀川となる。
2、南部の平野は即ち淀川の灌漑する流域に當れり。

三、京都府の産業

1、山城の北部山地は主に樵業を營み、南部は農を主なる産業とす。
2、丹波は山林業を營み亦其副産物の採取に力む。
3、住民は一般に美術・工藝に巧にして、京都市民は雅美を好み西陣織・友禪染・清水燒・粟田燒を主とし、七寶燒・銅器・人形・紅・白粉・宇治茶・松茸・栗山縮緬等の産あり。

四、京都府の地方誌

1、京都市は淀川の流域にありて、依然繁盛を極め、桓武天皇以來一千有

餘年の帝都たりしを以て一に西京と稱す。
2、全市を二區に分つ、西陣織を始め有名なる物産多く、關西學術及び政治上の中心をなせり。
3、伏見は淀川汽船の發着地にして風景に富めり。
4、宇治は宇治川澄岸にあり茶の産地なり。
5、龜岡は桂川上流にあり生絲を産す。
6、福知山は軍事上及び交通上の要衝にあり。
7、舞鶴は第四海軍鎭守府の所在地にして軍港あり。
8、宮津は與謝海内にあり碇泊安全なる開港場なり。
9、天ノ橋立は一帶の沙洲長く海中に突出し、日本三景の一なり。
10、峰山は附近より縮緬及び羽二重を産し其集散地なり。

五、京都府の概説

1、一千餘年の間帝都の地たりしが故に名所舊跡頗る多く、遊覽者常に絶えず。

2、京都の美術・工藝は其發達著しく最も名産多し。
3、宇治茶は内國向きにして良好なるを以て名あり。

大阪府

一、大阪府の地形

東南北の三方山脈を繞し、地形大阪灣に向て傾斜し、淀川の流域は大三角洲をなす。

二、大阪府の河流

1、淀川は水量多く流勢緩徐運輸の便多し。

2、河口は大三角洲をなして所謂灘波の大平野をなす。

三、大阪府の産業

1、地味肥沃人口稠密なるを以て農業行はる。農産物には米・麥・綿・藍・蜜柑・甘藷・茶・菜種等なり。
2、紡績業を始め種々の工業は大阪・堺を中心として行はる。鐵器・段通・木綿・綿絲織・セメント・硫酸・マッチ・船舶等の製造盛なり。

四、大阪府の地方誌

1、大阪市は淀川の三角洲上に立ち、商業最も盛大なり。工場頗る多く工藝品殊に綿絲紡績及び造船術名あり。大阪市は東西約二里半南北約三里人口約百萬我が國第二の都會なり。行政上東西南北の四區に分る。
2、堺市は大和川の河口に添ひ、清酒・鐵器・段通を産せり、
3、池田は木炭の産地として著はる。亦酒を産す。
4、金剛山は和泉の東境にあり、楠氏の舊蹟なり。

五、大阪府の概説

1、大阪市は關西商業の大中心地をなせり。
2、都市として發達の盛なること稀に見る所なり。
3、綿絲の産額多く、盛んに清・韓に輸出す。

奈良縣

一、奈良縣の地形

1、其形南北に長く、大和川・吉野川及び十津川の三流域に分る。大和川の流域には奈良平野あり。

2、吉野川・十津川及び北山川の水源地は、紀伊山脈の最も奥深き部分に屬し、地形高峻なり。

二、奈良縣の河流

1、紀ノ川は源を大臺原山に發す、吉野川といふ。長さ約四十七里、下流は舟を通じ、河谷は重要なる交通路をなす。
2、熊野川は又十津川と稱し、源を大和に發す。大和山地の材木は多くはこの川によりて搬出せらる。

三、奈良縣の産業

1、農業は主なるものにして、水利に便なる平地に行はる。
2、製茶・養蠶・紡績の業亦各地に行はる。
3、山林及び採鑛は山地に營まれ殊に林産は甚だ多しとす。
4、吉野山地は吉野紙・吉野葛及び材木を出せり。

四、奈良縣の地方誌

1、奈良市は縣廳の所在地にして、公園●博物館●大佛●興福寺●正倉院其內に散在す。奈良漬●奈良人形等有名なり。

2、法隆寺には有名なる古刹法隆寺あり。

3、郡山は奈良に近く商業地なりとす。

4、畝傍山は神武天皇御陵の存在を以て名あり。

5、多武峯に藤原鎌足を祭れる談山神社あり。

6、吉野は南朝皇居の地にして、其櫻花世に名高し。

五、奈良縣の概說

1、南部十津川●吉野川の水源地方は、材木の切り出し盛んなり。

2、奈良は暫く帝都の地たりし所なるを以て名勝多し。

3、奈良晒は奈良を中心として四近より產し世上に有名なり。

4、本縣の地方は神武天皇御開拓の地に屬し、最も早く
より恵の露に浴したる地方なりとす。

三重縣

一、三重縣の地形●河流

1、西部には、鈴鹿●紀伊の兩山脈連亘し、東南は伊勢海●熊野洋等に面す。
北西の一部伊賀高原の地をなす。

2、河流は雲出川●櫛田川●宮川等あり皆東流して內海に入る。

二、三重縣の產業

1、農業は主要なる産業にして、伊勢米の産額大なり。
2、製茶・紡績の業亦盛大にして其産額多しとす。

三、三重縣の地方誌

1、津市は海岸の平野に位し、縣廳の所在地なり。
2、四日市市は良港を有し、綿絲の産出多く萬古燒を産す。
3、桑名は木曾川舟運の起點にして、著名の米穀取引所あり。
4、松坂は縞木綿を織出して名あり。
5、宇治・山田市は伊勢神宮の所在地なり。宇治の內宮は天照大神、山田の外宮は豐受大神を祀る。
6、鳥羽は志摩の海岸にあり。近海は鰒・鰹・眞珠等を産す。
7、上野は伊賀高原の名邑にして伊賀燒を産す。
8、リアス式海岸。志摩半島の海岸の如き出入せる海岸をいふ。

四、三重縣の概說

1、伊勢は米穀の産出甚だ多く菜種及び茶之れに次ぐ。

2、近海は水産に富み、鰒の産額甚だ多し。
3、伊勢神宮の鎭在は、本縣の繁盛に影響する所多し。

和歌山縣

一、和歌山縣の地形・河流

1、海岸の狹長なる平野を除き、他は一般に山地なり。
2、紀ノ川は大和より流れ來り重要なる交通路をなす。
3、有田川は高野山より發し附近は蜜柑を産す。
4、其他日高川・熊野川等あるも何れも大川ならず。

二、和歌山縣の産業

1、農業は本縣唯一の平野なる紀ノ川河谷に行はる。
2、林業は山地一般に之れを營み、殊に南部の木材多きこと比類稀にして、熊野川により盛んに搬出せらる。
3、黒江は漆器を産すること多く、和歌山は綿フランネルを多く賣出し、近海は鰹・鰹等の水産に富む。

三、和歌山縣の地方誌

1、和歌山市は縣廳の所在地にして綿フランネルを産す。
2、黒江は漆器を産す。産額我が國第一なり。
3、加太は大阪灣の咽喉に當り重要の地なり。
4、高野山には金剛峯寺あり。僧侶多し。
5、湯淺は蜜柑の集散地なり。
6、新宮は熊野川の流域にあり木材の産出多し。

四、和歌山縣の概説

1、山地多く木材を産す。
2、蜜柑は本縣の特産なり。
3、綿フランネル・漆器の産多し。
4、和歌ノ浦は風景を以て知らる。

兵庫縣

一、兵庫縣の地形

1、中國山脈縣の中部を東西に走り、地形中央に高く南北に低し。從て河水南と北とに排水す。

近畿地方　兵庫縣

2、北海岸は嶮崖多く南海岸は白砂青松多く平低の地なり。

二、兵庫縣の河流

1、淡川は河床存すれども水なし。
2、武庫川●加古川等あれども大河ならず。

三、兵庫縣の産業

1、農業一般に行はれ商工業之れに次ぐ。
2、赤穗附近は製鹽盛んに行はる。
3、灘地方は清酒の醸造盛なりとす。
4、牛●酒●マッチ●紡績絲●龍野醬油●姫路革●赤穗鹽●明石縮●柳行李●金銀●陶器等は名あり。

四、兵庫縣の地方誌

1、神戸市は、神戸●兵庫の二部より成り、縣廳の所在地にして高等商業學校あり。造船及びマッチの工業盛大にして、中國及び大阪●京都の咽

喉に當る。

2、商業貿易は極めて殷盛にして、輸出額は開港場中第一に位す。灘は池田●伊丹の地方にして一般に醸酒を産す。
3、有馬は有馬溫泉を以て名あり。
4、由良は淡路島にありて堅固なる要塞あり。
5、福良は淡路島にありて陶器を産す。
6、赤穗は製鹽業盛にして品質良好なり。
7、姫路市は交通の要點にあり第十師團司令部あり。
8、龍野は醬油を産す。
9、豐岡は柳行李●生野は銀銅の産地なり。

五、兵庫縣の概說

1、マッチ及酒の産額大にして各地に輸出せらる。
2、有名なる生野の銀山を有し銀の産大なり。

3、樟腦は神戸にて精製せられ世界各國に輸出す。
4、神戸港は造船所及び大なる浮ドック備付けらる。

第五、中國地方

一、中國地方位置

本州西部の地域を占む。東は畿内地方に接し、南は瀬戸内海、北は日本海に面す。

二、中國地方の地形

地形は南北に狹く東西に長し。中國山脈は九州より來りて中央を東西に走り、其脊梁を爲す。

一般に、大山系・大平野の存するなく、其規模凡て小なれ

ども、産業盛大にして富力大なり。

三、中國地方の河流

河は中央に大分水山脈連亘し、兩斜面共に地形狹小なるを以て、大河の存するなし。

江川は、中國第一の大河にして、重要なる交通路をなし、日本海に注ぐ。此の外に太田川・旭川・吉井川・高梁川等あり。

四、中國地方の産業

人口の密度大にして、海外に移住若しくは出稼するもの甚だ多し。就中山口・廣島の兩縣を以て最とす。

不生産地少なく、到る處多くは開墾せられ、農業行はる。

牧畜は牛を飼養するもの多し。

砂鐵の採取業、綿絲紡績・麥稈眞田・花莚の製造、養蠶業及び製鹽業は、各地に行はる。

五、中國地方の交通

山陽鐵道は、神戸より内海沿岸に沿ひ、下關に至る、鐵道の完備整頓せること全國第一なり。

姫路よりは播但線、岡山よりは中國線を分岐せり。

山陰道には、官設鐵道あれども、其延長甚だ短しとす。

日本海沿岸は、良港を缺くも、内海沿岸は港灣多く航通便利なり。

六、中國地方の行政區劃

縣名	管轄區域	縣廳所在地
鳥取縣	(因幡 伯耆	鳥取市
島根縣	(出雲・石見 隱岐	松江市
岡山縣	(美作・備前 備中	岡山市
廣島縣	(洲後 安藝	廣島市
山口縣	(向防 長門	山口町

鳥取縣

一、鳥取縣の地形

1、地形狹長にして山地多し。一般に土地瘠せ人口亦少し。
2、海岸は平直にして沙濱相連り、夜見ヶ濱突出す。

二、鳥取縣の河流

1、賀露川は一名を千代川といふ。
2、其他天神川あれども小流なり。

三、鳥取縣の產業

1、農業を主とし大山の裾野には、牧畜業盛に行はる。
2、海濱は漁業稍盛なりとす。
3、物產の重もなるものは、米穀・生絲・杉材・綿・紙・砂鐵・海柳・水產物等とす。

四、鳥取縣の地方誌

1、鳥取市は縣廳の所在地なるも、市況殷盛ならず。
2、境港は夜見ヶ濱頭にあり。開港場にして山陰道の貿港なり。
3、米子は綿の集散地にして、船舶亦相集り將來多望なり。
4、倉吉は生絲・絹木綿等を産せり。

五、鳥取縣の概説

1、縣内一般に生産力頗る大ならず。
2、山地より産する砂鐵の産額大なり。

島根縣

一、島根縣の地形

1、南境に中國山脈を貫ひ、縣内一般に山地多く、殊に石見は平地少しとす。
2、隱岐は島前・島後に分れ亦山地多しとす。

二、島根縣の河流

1、斐伊川は源を中國山脈に發し、宍道湖に注げり。
2、神門川は斐伊川の下流と共に一平野を開けり。
3、江ノ川は中國第一の大河にして流れ強く僅に舟筏を通ず。

三、島根縣の産業

1、平地及び墾地は農業行はれ、亦砂鐵の採取業盛大なり。
2、海岸の民は漁業に從事す。養蠶の業は次第に開けり。
3、銀・鐵・大麻・石見半紙・鰯・乾鰒・出雲燒・瑪瑙等を産出し、隱岐の近海は烏賊を産するを以て名あり。

四、島根縣の地方誌

1、松江市は、縣廳の所在地にして、附近より出雲燒・瑪瑙を產す。
2、杵築は、出雲大社のある所なり。
3、濱田は、開港場の一にして、西部の要地をなせり。
4、津和野は、山口縣に至る交通上の要所なり。
5、西郷は隱岐の島後にある良好の錨地なり。

五、島根縣の概說

1、鳥取と共に砂鐵の產多し。
2、石見半紙及び麻・鰯の產多し。
3、隱岐は歷史上有名なり。

岡山縣

一、岡山縣の地形

1、中國山脈北方に聳え、土地次第に內海に向て傾斜す。
2、河流多くは南に流れ、海岸は砂濱にして屈曲に富む。
3、兒島半島は突出して兒島灣を抱けり。

二、岡山縣の河流

1、吉井川・旭川・高梁川の下流は相連接して低地を作る。
2、吉井川の上流は一盆地をなし、高梁川の上流は烟草を產す。

三、岡山縣の產業

1、農業は最も肝要なる產業にして、亦牧畜至る所に行はる。

2、製鹽業●漁業●花莚製造業●麥稈眞田の製造等殊に名あり。
3、米●藺草●烟草を主要農産とし、燃表●麥稈眞田●花莚●綿絲紡績●雲斎織等は主要の工藝品なり。

四、岡山縣の地方誌

1、岡山市は縣廳の所在地なり。旭川の下流に跨り、綿絲●燃表●花莚等の集散多し。
2、三石よりは石筆及び煉瓦の産あり。
3、玉島は水島洋の要津なり。
4、伊部は伊部燒を産す。
5、笠岡は紡績業盛大なり。
6、津山は中國鐵道の要點にして雲斎織を産す。
7、高梁は、煙草及び麥稈眞田の集散地なり。

五、岡山縣の概説

1、麥稈眞田●花莚は本縣の特産なり。

2、牛の頭數及び銅の産出は多大なり。
3、兒島半島は昔は分離せる一島嶼なりき。

廣島縣

一、廣島縣の地形

1、中國山脈北に聳え、域内山岳丘陵多く、中央は稍大なる一分水山脈東西に走り、河流南北に走る。
2、平地は河岸又は海岸にあるも、大なるものなく區々相分立せり。

二、廣島縣の河流

1、太田川は縣の西部を流れ、河口に三角洲を作る。
2、江ノ川は其上流のみ縣内を流れ山陰道への交通路をなす。

三、廣島縣の産業

1、農業一般に行はれ、市街の民は多く商業に從事す。
2、北部の山地には採鐵業、南部沿海地には漁業・製鹽業行はる。
3、麻・綿・藺草・烟草・砂鐵の産、錦酒・蠟燭・蠟表・綿絲の紡績盛なり。
4、水産物中、鹽と牡蠣との産は大なりとす。

四、廣島縣の地方誌

1、廣島市は中國第一の繁盛なる都會なり。縣廳の所在地にして、廿七八年以來其の殷盛を增せり。
2、吳港は灣內水深く第二海軍鎭守府を置き、軍港を設く。
3、宇品は廣島灣に臨み廣島市の外港をなす。
4、嚴島は風景美、嚴嶋神社あり、日本三景の一と稱せらる。
5、尾ノ道市は備後物産の積出地にして市況繁盛なり。

6、絲崎は開港場にして瀨戶內海の要津たり。

五、廣島縣の概說

1、本縣は明治二十七年以來頗る殷盛となり、名聲大に上がる。
2、廣島市は、中國第一の都會にして、中國の大中心たり。
3、牛・綿・麻の產額は全國の首位にあり、殊に牛は有名なり。
4、疊表即ち備後表の產は、備後地方を中心として產出し、產額大なり。

山口縣

一、山口縣の地形

1、山地多く其形容凡て小規模にして河流に大なるものなし。
2、地味は山地を除き、沿海及び河岸は一般に肥沃なり。

二、山口縣の産業

1、農は主要の産業にして、山間の地も尙能く田畑開けたり。
2、蠶業は未だ盛んならざるも將來發達の見込十分なり。
3、沿海は漁業に從事し、製鹽亦盛大、産額多大なり。
4、鹽●綿布●縮布●硯石●烟草●夏蜜柑●セメント●石炭等は主要なる産出品なりとす。

三、山口縣の地方誌

1、山口は、山間にあり。縣廳の所在地なり。
2、馬關市は馬關海峽に臨む要塞の設けありて商業盛んなり。
3、德山は、良港にして近時海軍練炭所を設けたり。

4、小郡は、小都會なれども名邑なりとす。
5、岩國は、岩國縮を産し有名なる錦帶橋を有せり。
6、三田尻は、良港を有し、附近に鹽田多く食鹽を産す。
7、萩は日本海岸に臨み泊地なり。夏蜜柑の名産あり。
8、小野田は、セメント製造を以て名著なる。

四、山口縣の概說

1、鹽の産額大にして全國中有數の位置にあり。
2、住民の漁業に從事するもの多く、漁業の盛大は我が國の首位を占む。

第六、四國地方

一、四國地方の位置

中國地方の南にある所謂四國島の地にして、東は紀伊水道に臨み、南は太平洋、西は豐豫水道に面す。

二、四國地方の地形

四國山脈本島の脊骨をなし、本島を西より東に走る。島内山岳丘陵多く、地形多くは高峻にして河川四方に流れ、

四國各一部をなす。海岸は平低沙濱の地多し。

三、四國地方の河流

地域狹く且つ山脈連亘するを以て、河流に大なるものなし。唯吉野川は長さ大にして流域廣しとす。

四、四國地方の產業

德島縣の藍・煙草の栽培、愛媛縣の櫨、香川縣の櫨・甘蔗、高知縣の椿の栽培は盛んなり。

製鹽業は、瀨戶内海沿岸に最も盛んに行はる。此外に織物及び製紙業盛大なり。

五、四國地方の交通

地形山地に富み、鐵路の敷設に頗る不便なり。故に鐵道

は内海斜面に少許之を見るのみ。

唯海運業は中國及び近畿と航路相通じ僅に交通の便を助くるに過ぎず。陸上の交通は誠に不便なり。

六、四國地方の行政區劃

縣名	管轄區域	縣廳所在地
德島縣	阿波	德島市
香川縣	讃岐	高松市
愛媛縣	伊豫	松山市
高知縣	土佐	高知市

一、德島縣の地形

1、三境山脈を繞らし、東方は紀に接し、一部紀淡海峽に面す。

2、東方は出入に富み、蒲生田岬以西は海岸平直なり。

二、德島縣の河流

1、吉野川は、源を四國山脈に發して東流す。四國第一の大河にして、四國三郎の名あり。

2、上流地方は烟草を產し、下流地方は藍の產出多し。

三、德島縣の產業

1、產業の最も盛なるは吉野川の流域及び沿岸の地方なり。吉野川の流域は烟草・藍を產す。

2、海岸は漁業行はれ、殊に撫養地方は製鹽盛んなり。

四、德島縣の地方誌

1、德島市は縣廳所在地なり。繊織を産す。
2、撫養は東海岸にあり、齋田鹽の集散地なり。
3、脇は吉野川の流域にあり、藍の集散地なり。
4、池田は吉野川の流域にあり、烟草の集散地なり。
5、祖谷は、吉野川上流の山中にあり、一仙境をなす。

五、德島縣の概説

1、藍の産額多きこと我が國第一なり。
2、齋田鹽は、品質の良好を以て知らる。
3、鳴門は、潮流急なるを以て知らる。

香川縣

一、香川縣の地形

讃岐半島の地を占め、南は山を以て境すれども、北は内海に近づくに從ひ、次第に低地となる、五劍山は屋島の東方に屹立す。

二、香川縣の産業

1、製鹽業の産額と盛大とは我が國第一なり。
2、甘蔗栽培と漁業及び航海業盛んなり。
3、産物は鹽・保多織・文綺塗・砂糖等を主とす。

三、香川縣の地方誌

1、高松市は縣廳の所在地なり。
2、屋島は源平古戰場の地なり。
3、善通寺には第十一師團司令部あり。
4、多度津は内海の良津なり。
5、琴平には金刀比羅神社あり。

6、小豆島は醤油の産及び寒霞渓の勝を以て名高し。

四、香川縣の概説

1、生産力及び教育の盛んなること他に稀なり。
2、製糖及び製鹽業甚だ盛大なり。
3、面積の割合に比し人口の密度大なり。

愛媛縣

一、愛媛縣の地形

1、域内山脈連亘し山地多しと雖ども、高縄半島と佐田岬とは本縣を三分に分つ。
2、中部の重信川流域地方と其東部の地方と西部の佐田岬以南の地方是れなり、

二、愛媛縣の産業

1、中部重信川の流域は一般に綿織物業盛んなり。
2、東部は製鹽業行はれ又別子の銅山は産額大なり。
3、南部地方の宇和島近傍は楮の栽培多くして製紙業盛んなり。
4、銅●アンチモニー●砂糖●鹽●伊豫絣●簾●蠟等は主なる産物なり。

三、愛媛縣の地方誌

1、松山市は縣廳の所在地なり。重信川河谷の中心に位す。
2、三津濱は松山市と鐵道を以て通ず。交通上の要津なり。
3、高濱は松山市を去ること遠からず。要津なり。
4、道後は温泉を以て名高し、松山市の近傍にあり。

5、波止濱は附近より鹽を産し、其中心をなせり。
6、新井濱には銅の精煉所あり。別子と鐵路及び鐵索を以て連絡す。
7、市ノ川はアンチモニーを産す、産額我が國第一なり。
8、別子は銅を産す。其精練は新井濱に於て行ふ。
9、宇和島は紙の集散地なり。産額多し。

四、愛媛縣の概說

1、銅・アンチモニー等の鑛産多し。
2、紙の製造生蠟の産及び漁利多し。

高知縣

一、高知縣の地形

1、山脈北部に繙り、地形多くは山地なり。
2、中部の平野稍廣く、蹉跎・室戸の二岬突出して土佐灣を抱く。

二、高知縣の河流

1、河流には仁淀川・物部川・四萬十川等ありて稍大なり。
2、仁淀・物部二川の流域には、一年二度米の收穫を見る所あり。

三、高知縣の産業

1、田野少く從て米穀の産に乏し。
2、山間は林業に從事し、或は製茶に從ふ。
3、海濱は漁業一般に行はれ、鰹・眞珠・珊瑚を産し又製鹽を行ふ。
4、楮樹の栽培多く、半紙の産額我が國第一なり。

四、高知縣の地方誌

1、高知市は縣廳の所在地にして浦戸の外港を有す。
2、須崎は海岸唯一の良港にして船舶出入多し。
3、伊野は仁淀川の沿岸にあり近傍製紙業盛なり。
4、四萬十川沿岸は甘藷の栽培多し。

五、高知縣の概說

1、製紙即土佐半紙の産額は、我が國第一位を占む。
2、土佐の海は海産物頗る多く、鰹節・鯨等の産多し。
3、他縣への交通は、道路不便にして多く海路に依る。

第七、九州地方

一、九州地方の位置

四國の西方に位し、所謂もとの西海道の地なり。北は日本海に面し、西は海を隔て、朝鮮及び支那と相望み、南は一連の琉球諸島を以て臺灣と相連なり、東南太平洋に對す。

二、九州地方の地形

霧島火山脈は南北に走り、阿蘇火山脈は東西に馳せ、火

山頗る多く地形錯雜を極め河流亦諸方に流る。海岸は出入甚だ多く、殊に西部海岸は東部海岸よりも港灣島嶼に富む。東海岸は平地・海岸・交通の便・人口の多寡等、西海岸地方と全く趣を異にするものあり。

三、九州地方の河流

河流は地形に從ひて四方に流る。其數甚だ多しとす。河流の大なるものは、筑後川及び川内川にして、筑後平野は筑後川の流域に當る。

四、九州地方の交通

陸上の交通は、その北部及び西部に於て鐵路普及し、南部も亦漸く開發の緒に就きしも、東部は交通甚だ不便なりとす。

海上の交通は大阪及び長崎を中心として船舶相往來し、海路の通運大に發達せり。

五、九州地方の産業

暖流近海を流れ、氣候一般に温和、雨量亦適順にして生物能く繁茂し、生産力大なり。故に産業もよく發達せり。筑後川沿岸の米作、北部筑豐地方の石炭採掘、東部の林産物及び南部の牧畜等は就中盛大なり。

六、九州地方の行政區劃

縣名	管轄區域	縣廳所在地
福岡縣	筑前・筑後・豐前北部	福岡市

佐賀縣	肥前の東部	
長崎縣	肥前西部・壹岐・對馬	
熊本縣	肥後	
大分縣	豐前南部・豐後	
宮崎縣	日向	
鹿兒島縣	大隅・薩摩	
沖繩縣	琉球	

佐賀市	
長崎市	
熊本市	
大分町	
宮崎町	
鹿兒島市	
那覇	

一、福岡縣の地形と河流

1、九州の北部を占め、山脈中部に起伏し、河水南北に流る。
2、地形日本海・內海・有明海の三海面に向て傾斜す。
3、遠賀川・筑後川は河流の主なるものなり。

二、福岡縣の産業

1、遠賀川の河谷は、炭層多く分布し、採掘盛んにして、其豐富なること我が國第一とす。
2、筑後川沿岸は、良質の米を產す。實に本縣主要の產業は石炭業及び農業なりとす。
3、農產の主要なるものは米穀・生蠟・菜種・醬酒・蔗產等にして、外に工藝品には博多織・久米留絣を產す。

三、福岡縣の地方誌

1、門司市は船舶の出入多く、石炭の輸出額大なり。
2、小倉市は、交通の要所を占め、第十二師團司令部あり。
3、折尾は、筑豐線の交叉點に位す。此鐵道は、筑豐炭田地方と若松港とを連絡す。
4、若松は石炭の輸出盛にして、枝光には製鐵所あり。
5、福岡市は、縣廳・福岡醫科大學あり。博多織を産す。
6、箱崎には、應神天皇、香椎には神功皇后を奉祀せる宮あり。
7、久留米市は、久留米絣の産に富み、米穀を産す。
8、大牟田は、石炭の積出港、三池には有名の炭山あり。

四、福岡縣の概説

1、筑豐炭田は、石炭の産出多く、我が國第一なり。
2、農業盛んに行はれ、米・生蠟・菜種の産多し。
3、古來交通の要衝に當りしを以て、名跡甚だ多し。

佐賀縣

一、佐賀縣の地形

東南は平地廣けれども、西北は山地多しとす。

二、佐賀縣の産業

1、氣候溫暖、土地肥沃人民一般に農業に就事す。
2、工業は陶磁器の製造を主とす。
3、漁業は沿海の地に行はる。
4、鑛業は石炭の採掘を主となす。

三、佐賀縣の地方誌

1、佐賀市は、縣廳の所在地にして市況盛んなり。
2、武雄には、有名なる溫泉あり。
3、有田は、有田燒を產す。
4、伊萬里は、有田燒及び石炭を輸出す。
唐津は、一泊地なり。

四、佐賀縣の概說

1、石炭の產出多く、又菜種・櫨樹多し。
2、有名なる有田燒は本縣の特產なり。

一、長崎縣の地形

1、概れ半島及び島嶼より成り、地形各地一樣ならず。
2、一般に海岸の出入に富み、港灣甚だ多し。

二、長崎縣の產業

1、住民は海事思想に富み、水產業及び外國貿易盛んなり。
2、農業は第一の產業にして、荒野未墾の地少しとす。
3、米・石炭・甘藷・大豆・烟草・牛・豚・鰯・鰹節は主要產物なり。
4、長崎烟草及び天草の石炭、五島の鰯は有名なりとす。

三、長崎縣の地方誌

1、長崎市は、縣廳の所在地にして、良港を有す。港內水深く波穩かにして、船舶輻輳し外國貿易常に盛んなり。控訴院・造船所・醫學專門學校・高等商業學校等あり。

2、貿易商品は、石炭・水産物を多く輸出し、石油・鐵を輸入す。
3、佐世保市は、第三海軍鎭守府の所在地にして軍港あり。
4、口ノ津は、石炭の輸出地として市況盛んなり。
5、高島は、石炭産地の中心に當り、産額大なり。
6、竹敷は、海軍要港にして對馬にあり。軍事上の要衝に當る。
7、厳原・鹿見・佐須奈は、共に對馬にありて開港場なり、
8、福江は、五島にあり。近海は鰒・烏賊・鰯を産せり。

四、長崎縣の概說

1、縣内の地形頗る屈曲出入に富む。
2、縣内の住民割合に海事思想に富む。
3、長崎市は開港場として古きこと我が國第一なり。
4、石炭の産出多く、殊に島原は無煙炭を産す。
5、牛及び豚の飼養者多しとす。

6、海産物饒多、殊に烏賊・鰯を多しとす。

熊本縣

一、熊本縣の地形

1、東境には、市房山・祖母岳等の諸山相聳え、西に至るに從ひ漸く低し。
2、西南部は平地にして田野開け、土地肥沃農耕の業盛なり。

二、熊本縣の河流

1、菊池川・白川・綠川の諸川は、肥後の平野を作る。

2、球磨川（クマ）は日本三急流の一として知らる。

三、熊本縣の産業

1、農は主要なる生業にして、河の流域には肥沃の米田多し。
2、八代附近は製紙及びセメントの産を以て名あり。
3、肥後米●粟●甘藷●茶●烟草●苧●藺等を産し、粟の産額は我が國第一なり。
亦木材●木屑●石炭あり。

四、熊本縣の地方誌

1、熊本市は、白川の沿岸にあり。縣廳及び第六師團司令部あり。九州中の繁盛なる都會なり。
2、三角は、宇土半島の南端にありて、貿易盛んなり。
3、八代は、セメント及び紙の製造業盛んなり。
4、五箇ノ荘は、球磨川の上流にあり、太古の遺風今に存す。
5、隈府●山鹿は、共に菊池川の沿岸にあり。
6、田原坂は、植木と共に西南の役の戰場なり。

7、阿蘇山は、活火山にして、舊噴火口の直徑南北約六里、東西約四里、實に世界第一の火山なり。數萬の人民茲に生活し、現今の火口は其の約中央にある中岳なりとす。

五、熊本縣の概說

1、粟の產額、我が國第一にして、亦良馬を產す。
2、阿蘇山は我が國第一の火山にして、阿蘇火山脈の盟主たり。
3、天草島は、歷史上名高く、亦無煙炭及び陶土を產す。

大分縣

一、大分縣の地形と産業

1、縣内は地形錯雜し、大野川・駅館川・山國川等其間を流れ、山地多く溫泉の分布多し。

2、一般に山林に富み亦農業行はる。

3、米・麥・大豆・菜種・苧・麻・烟草・茸類・生蠟及び水産物あり。

二、大分縣の地方誌

1、大分は、別府灣に臨み、縣廳の所在地なり。

2、別府は、一泊地にして、溫泉あり。

3、長洲は、豐前米の積出地として著はる。

4、中津は、山國川の河口にあり。

5、宇佐は、有名なる宇佐神宮の存する所なり。

6、耶馬溪は、山國川の上流にあり、奇景を以て知らる。

三、大分縣の概説

1、溫泉の湧出の多きこと、稀に見る所なり。

2、有名なる琉球表の産額頗る多し。

宮崎縣

一、宮崎縣の地形

東方一帶は海に面し、他の三方は山を以て圍み、南西境には有名なる霧島火山あり。一般に山地多く平地少し。

九州地方　大分縣　宮崎縣

二、宮崎縣の河流

1、河流は、五箇瀬川●美々津川●大丸川●一ノ瀬川●大淀川等あり。
2、五箇瀬川の、支流なる北川は却て舟揖の便に富む。
3、大淀川は、縣の南部を流れ、本縣主要の河流なり。

三、宮崎縣の產業

1、地味肥沃にして、農作に適すれども、面積に比し人口少く農產物多からず。
2、農產物は米麥を主とし、煙草●藍●玉蜀黍●甘藷等あり。鋼●燐酸鑛は產出多く又樟腦●椎茸●木材●鰮●鰤●鰹等あり。

四、宮崎縣の地方誌

1、宮崎は、大淀川に臨み、縣廳の所在地なり。
2、都ノ城は、鹿兒島に至る交通上の要所をなせり。
3、細島は、北部の海岸にありて、良港を有せり。

4、延岡は、交通上の要路に當り、泊地をなせり。

五、宮崎縣の概說

1、有名なる高千穗峯及び霧島山あり。
2、椎茸●銅●燐酸鑛等の特產物を有せり。
3、一般に交通不便にして、人文の發達大に遲る。

鹿兒島縣

一、鹿兒島縣の地形

九州地方　鹿兒島縣

1、域内は山地多く、高山相連り、地形甚だ錯雑す。
2、海岸は志布志・鹿児島等の大灣ありて島嶼に富む。
3、河流多きも大なるもの少し。川内川は稍著しとす。

二、鹿児島縣の産業

1、氣候温暖にして農生物能く繁殖し、農業行はる。
2、亦牧畜殊に島の飼養・採鑛及び水産業盛んなり。
3、芹ケ野・大口・山ケ野等の金鑛は産出多し。
4、谿山地方は薩摩燒を産し、大隅は烟草の産に名高し。
5、吐喝喇、奄美の二群島は、榕樹・蘇鐵等の植物及び大島紬・黒砂糖を産す。

三、鹿児島縣の地方誌

1、鹿児島市は、縣廳の所在地にして、第七高等學校造士館あり。市況盛大なり。
2、山川港は、坊ノ津と共に著名なり。

3、揖宿は、國分と共に烟草の産地なり。
4、福山の近傍は、牧馬盛んなりとす。
5、加治木は交通の要所に當れり。
6、名瀬は大島の良港にして、雨量多し。

四、鹿児島縣の概説

1、甘藷・馬・黒砂糖・金・錫・煙草の産額多し。
2、士風今に衰へず、國家有用人物の輩出頗る多し。
3、住民一般にアルコール分の強き飲料を好めり。

沖繩縣

一、沖繩縣の地形

1、沖繩諸島・先島諸島等數多の島嶼より成る。
2、一般に山地多く平地少く、沿岸は珊瑚礁多し。

二、沖繩縣の產業

農業行はるれども、米を產せず、芭蕉布・泡盛・砂糖・琉球綢・漆器・琉球表等を產し、豚の飼養行はれ、水產業亦行はる。

三、沖繩縣の地方誌

1、那覇は、開港場にして、砂糖・泡盛・綢を產す。
2、運天及び川平は何れも一泊地をなせり。
3、中城灣は良灣入にして、船舶の停泊に便す。

四、沖繩縣の概說

1、黑砂糖の產及び泡盛の特產物あり。
2、氣候暑く雨量多く、芭蕉・椰子・蘇鐵等生育す。
3、豚の飼養者頗る多く、頭數我が國の首位にあり。

第八、臺灣地方

一、臺灣地方の位置

九州地方の南西に位し、臺灣海峽を隔てゝ支那本部と相對す。氣候上其一部は熱帶に位し、軍事上肝要なる門戸をなせり。

二、臺灣地方の地形

1、其形櫻の葉の如く南北に長く狹し。

2、臺灣山系は北より南に連り、地形東部に急峻にして、西部は次第に低し。

3、海岸は、東岸に絶壁多く、西岸は平直なる砂濱にして港あるも良好ならず。

三、臺灣地方の河流

1、地形上東流するものには、蔴萊溪の外六河を缺けり。

2、地形上西流するものには、大甲溪・濁水溪・大姑陷河・下淡水溪等大なるものなり。

3、然れども皆水量少く、大雨毎に一時に出水し、平時は廣き水なき河床を作るもの多し。

四、臺灣地方の産業

1、米作よく行はれ年二回又は三回の所あり。茶は北部、砂糖は南部にて製造行はる。

2、林業は熱帶性の植物繁茂すれども、鑛業と共に未だ盛んならず。

3、輸出品は、茶・樟腦・砂糖・穀物等にして、又金・石炭の産出あり。米の産額夥しく、亦森林の産出多しとす。

五、臺灣の地方誌

1、臺北は、總督府の所在地にして、本島に於ける政治産業上の大中心をなし、市況盛大なり。

2、淡水は、大姑陷河口に位し、砂糖・樟腦・茶の輸出盛んなり。

3、基隆は、臺北の外港に當り、內地交通の門戸なり。

4、新竹は、農産地にして、米産物多し。

5、苗栗は、樟腦の産出多し。

6、斗六は、樟腦の集散多し、明治三十九年四月大地震ありたり。

7、臺中は、中部樞要の地なり。

8、彰化は、米産の中心地にして、鹿港の外港を有す。

9、嘉義地方は、米及び砂糖の産あり。

10、臺南は製糖業地の中心にして、安平は其西方にあり。

11、打狗は、開港場なり、砂糖を輸出す。

12、卑南は、東部にあり。生蕃の割據地なり。

13、恒春は、極南の地にあり、我が國中温度最も高し。

14、宜蘭は、東部の要地なり。

15、媽宮は馬公とも稱し、澎湖島中に位し、海軍要港なり。

六、臺灣地方の總說

1、我が國の南部に位し、氣候炎熱なり。

2、氣候暑く穀物の産多く、殊に米は二度作をなす。

3、樟腦は世界中臺灣を以て特産地となす。

4、甘藷の栽培多く、砂糖の産額大なり。

第九、北州地方

一、北州地方の位置

奥州と、津輕海峽を隔て、相對す。東北は太平洋に面し、西北は、一部は日本海、一部はオホーツク海に望む。

二、北州地方の地形

1、樺太山系、宗谷岬の北西より南々東に走り、千島火山脈亦是れと相交はり、東北に走りて千島列島をなす。

2、是れ等は、皆一分水山脈をなし、大河其間より流れ出で、下流地方に平野を造る。

3、海岸は岬角突出し、南西及び東部は出入稍多しとす。

三、北州地方の河流

1、石狩川は、我國第一の大河にして、雨龍川・空知川・豐平川等の支流を合せ、石狩に至りて海に注ぐ。長さ約百里、汽船は空知まで至るを得べし。

2、天鹽川は、長さ約七十餘里、河口より二十里汽船を通ず。

3、十勝川は、十勝の高原性地方を濕し、流程約五十里あり。

4、釧路川は、釧路を流れ、釧路港に至りて海に注ぐ。水勢緩かにして、下流約二十里船を通ずべし。

四、北州地方の産業

1、水産は、各種の種族に富み漁業頗る盛大にして、近海は世界三大漁場の一と稱せらる。水產物は昆布・鮭・鱒・鰊・鰛等及び膃肭獸・臙虎等あり。

2、鑛業は其分布廣く、石炭の採掘、硫黄の採取盛んにして、金其他の鑛

産大なりとす。

3、農業は、肝要なる産業にして土壌肥沃農産多し、農産物に米・麥・豆類・麻・馬鈴薯・藍玉・晒餡等あり。

4、工業は、未だ盛んならざれども、林業は森林多く、鐵道の枕木・木屑を始め、産出多し。植物に蝦夷松・白楊・椴松等あり。

五、北州地方の地誌

1、札幌は、首府にして、麻・ビール等の製造品あり、市況盛大なり。

2、小樽は、室蘭と共に開港場にして築港工事の落成近しとす。

3、旭川は、石狩川の上流に位し、第七師團司令部あり。

4、增毛は、天鹽川下流の城内にあり一區地をなせり。

5、留萌は、近年築港計畫あり、夏季漁船の集合多し。

6、宗谷は本土の北部にして、稚内と共に要所なり。

7、枝幸は、砂金地なり、近年の發見にかゝる、産額多し。

8、網走は、本邦中雨量の最少地として知らるゝ所なり。

9、根室は、風濤湖岸にあり、漁船輻輳するも冬季は結氷す。

10、花咲港は、冬期結氷せず、根室港冬季の代用港となる。

11、厚岸は、厚岸灣に臨み牡蠣の養殖は有名なり。

12、釧路は、將來鐵路にて帶廣を經旭川に至るを得べし。

13、新冠には、有名なる牧場あり。

14、函館は、函館灣に臨み、開港場にして、要塞の設あり。

五、北州地方の概說

1、農業は頗る盛大にして、其組織大農法的なり。

2、水産物豐かにして、世界三大漁場の一と稱せらる。

3、石炭・硫黄の産出頗る多く本邦の首位にあり。

第十、樺太南部

一、樺太南部の位置

北州の正北に位し、宗谷海峽を隔てゝ相對す。日露戰爭の結果收得せるものにして、北半は露領なりとす。

二、樺太南部の地形

地形南北に長く亘り、東西に狹し。樺太山系は北より南に連亘し、本島の背骨をなせり。

河流は南流せるポロナイ河の外に著しきものなし。海岸は斷岸海に迫り良港に乏し。

三、樺太南部の産業

1、我が國は收得以來、民政署を置き、類りに經營中に屬すれども未だ産業の見るべきものなし。

2、將來發達の見込あるものは水産業にして、林業之れに次ぐ。

3、陸上には種々の毛皮獸多く、水産物は昆布最も多く、鮭・鱒・鰊・海獸等之れに次ぎ、其産額頗る多し。

四、樺太南部の地方誌

1、九春古丹は、東伏見灣にありて、千歲灣を抱き、漁業の一大中心をなせり、我樺太民政署は此地にあり。

2、ポロナイ河は、鮭の上り來るもの多く、其産額巨大なり。

3、ポロアントマリは、將來本地方の首府となるべき所なり。

4、海豹島は附近に膃肭獸棲息し、六月より九月までは禁獵せらる。

五、樺太南部の概說

1、樺太全島の形は鰊魚に似たり、我が領地は後半身に

當る。

2、明治卅七年戰役の結果、北緯五十度を限りとしロシアより獲得せり。

3、水産物の豐富なること、北海道の上に出づべしといふ。

第三章　人文地理

第一、我が國の住民

一、我が國の人口

1、人口總計約五千一百萬ありて、ベルギー・オランダ・イギリスの次ぎに位し、面積の割合に密度大なり。

2、人口の割合は、世界第四位にありて、

3、人口の配布は、畿內は最多の密度を有し、樺太最も少し。

二、人口の增加率